

第二十六回帝國議會
衆議院

關稅定率法改正法律案委員會會議錄(速記)第五回

會議

明治四十三年二月十六日午前十時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

野田 卯太郎君

森田 勇次郎君

高橋 光威君

山本 梯次郎君

田中 龜之助君

築山 和一君

鹿島 秀賢君

秋岡 義一君

千田 軍之助君

山田 又七君

井上 角五郎君

長島 鷺太郎君

村上 先君

川真田德三郎君

川村 曄君

鷺田 土三郎君

翠川 鐵三君

武藤 金吉君

石橋 爲之助君

大久保弁太郎君

水間 此農夫君

太田 清藏君

村松 恆一郎君

早速 整爾君

小川 平吉君

淺羽 靖君

木村 良君

片岡 直溫君

藤井 善助君

綾部 惣兵衛君

千早 正次郎君

石田 孝吉君

紫垣 一雄君

箕浦 勝人君

出席國務大臣左ノ如シ

外務大臣 伯爵小村壽太郎君

出席政府委員左ノ如シ

外務省通商局長 萩原 守一君

大藏省關稅局長 櫻井鐵太郎君

農商務省商務局長 大久保利武君

農商務省農務局長 下岡 忠治君

大藏書記官 野中 清君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

大藏省技師 矢部規矩治君

大藏省技師 阪口武之助君

大藏省技師 阪口武之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法改正法律案

○委員長(野田卯太郎君) 會ヲ開キマス、昨日ノ質問ノ續、マダ御質問ガアリマス

カ、アリマセヌケレバ類別ニ入ラウト思ヒマスガ、アリマセヌカ、無ケレバ此第一類ヲ議

題トシマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 是カラ類別ノ方ノ御審議ニ入ル順序ニナリマスガ、此

類別ノ中各種ノ品目ニ付テハ、稅表編成ノ上ニ學術ニ關スルイロノノ説明ガ必要ニ

ナルコトガアリマセウト思ヒマスノデ、大藏省ノ技手デ之ニ初メヨリ關係シテ居ッタ技手ガ

居ルンデアリマス、私が取次イデ説明ヲシテモ宜イカ知リマセヌガ、ソレヨリ直接ニ御話ヲ

シタ方ガ分リ宜イト思ヒ、政府委員デハアリマセヌガ説明ヲ致スト云フコトニ御承認ヲ得

タイト思ヒマス、委員長ニ此事ヲ申上ゲテ置キマス

○武藤金吉君 唯今櫻井君カラ御話ノアリマシタノハ、幸デスカラ、此一類ノ大體ニ付テ精シク説明ヲ願ッテカラ質問ヲ始メタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○委員長(野田卯太郎君) 唯今政府委員デナイ技手ノ人カラ説明ヲ聽クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 此稅表ノ第一類、是ハ品目モ至ッテ少ナウゴザイマス、而シテ此ノ中ニ入レマシタノガ植物動物デ生活力ヲ有スルモノ、即チ活キテ居ルモノダケヲ是ヘ入レタノデアリマス、ソコデ現行ノ稅表ニ較ベマスト云フト、此中ノ酵母ハ麵ト云フモノガ新タニ加ハッタ、酵母、麵ハ是マデドウナッテ居ルカト云フト、是ハ現行法デハ十九類ノ雜品ト云フ中デヤッテ居ッタノデアリマス、所ガ酵母、麵、是等ハヤハリ生活力ヲ有シテ居ル植物デアル、斯ウ云フ學門上ノ理屈ガアリマスノデ、其方カラ此中ニ入レルノガ適當デアルト云ウテ入レマシタ、サウシテ稅率ニ付テ申シマス、現行ト大ナル變タコトハアリマセヌ、唯少シ變タノハ綿羊、山羊ノ二割五分ト云フノヲ二割ニ致シマシタ、ソレカラ又豚、家禽類ノ二割五分ヲ二割ニ致シマシタ、此處ニ上ッテ居ル綿羊、山羊、牛、馬、家禽、豚ト云フモノニ稅ヲ課シマシタノハ、是ハ其中デアレバ耕作ト食用牛デアリマス、山羊、綿羊、豚ナド何レモ食用ノタメデアリマス、若シ是ガ種用ニナリマスレバ、昨日モ御説明申シタ通り、種々使フモノデアレバ、牛馬ノ如キ、豚ノ如キ、免稅ニシテ居リマス、即チ稅ヲ拂ッテ居ルモノハ食用ニナルモノガ多イト思ヒマス、何故茲ニ五分ヲ減シタカト斯ウ云フコトニ付テ、是ハ第二類ノ飲食物ト云フトコロカラ起ッテ居リマス、其飲食物ノ中ノ五十二項ノ鳥獸肉及魚介類ト云フノガアリマス、是ハ現行稅率デ二割ヲ二割七分ニ下ゲテ、魚肉ノ如キモノハ動カヌノモアリマスガ、鳥獸肉ニ付テハ少シク現行法ヨリ下ゲマシタ、之ヲ鈞合ヲ取ッテ生キテ居ルモノハ五分ヲ減シマシタ、此類別ノ中ニ這入リマス品物ハ、金額ハ全體ニ於テ餘リ多クハアリマセヌ、且稅率モ現行ニ比シテ大ナル變更ヲ加ヘタモノハアリマセヌ、大體申シテ置キマス

○委員長(野田卯太郎君) 質問ハアリマセヌカ

○田中龜之助君 此魚介類ノ中、種魚、魚卵ヲ今回無稅ニシテアルハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 此魚介類ノ中デ種魚、魚卵トアリマスルノハ、魚卵ニ付テハ洵ニ少イデアリマス、摘要ニアリマスノハ、唯種魚デケデアリマス、種魚ハドウ云フノカト云フト、是ハ内地ノ方デハ用イナイノデス、臺灣ノ關係デアリマス、臺灣デハ向ヒノ支那カラ種魚ヲ入レマシテ、サウシテ養魚デヤッテ、ソレガ臺灣ノ人ノ食用ニナリマス、其種デゴザイマス、サウ云フ關係デアリマシテ、内地ノ方ニハ餘リ必要ハアリマセヌガ、臺灣ニ取ッテハ、此種魚ト云フモノハドウシテモ支那カラ入レナケレバナラヌモノデ、是ハ直ニ食用ニナルモノデアリマセヌ、デヤハリ繁殖用ノ元ニナルモノデアリマスカラ、其點ヲ以テ無稅ト致シマシタ、卵ノ方ヲ無稅ト致シマシタノモ是モ内地ニハ何等影響ノナイモノデアリマシ

テ、サウシテ是が繁殖ノ目的ニ供セラル、ト云フモノデアレバ、斯ウ云フ種類ノ如キモノハ寧ろ稅ヲ掛ケヌ方ガ宜カラウト云フノデ、斯ウ云フ方ハ無稅ト致シマシタ

○木村長君 此畜産ノ中ノ綿羊ナリ、山羊ナリノ稅率ヲ五分下ゲタト云フノハ、生肉ノ方ノ關係デアルト云フヤウナ御説明デアリマシタガ、サウ致シマスルト、牛ノ肉ハ二割ガ二割ニナッテ行クノニ、是同様ノ第一類ニ於テハ一割減リニナッテ居ルト云フコトデアリマス、ソレカラ豚ハ三割ヲ一割五分減シテ居ルデアリマスガ、ソレニハ何カ外ノ理由ガアルデアリマス、ソレヨリ根本ニ付テ一割ヒタイノハ、斯ノ如クニ生肉ノ輸入稅ヲ減セラル、ト云フコトハ、我國ノ畜産上ニ影響ノナイト云フ御見込デアアルデアリマス、果シテ我國ノ畜産ハモウ到底駄目デアル、仕方ガナイト云フヤウナ御見込ノ上カラ斯ノ如キ稅率ヲ定メラレタデアリマス、此點ヲ一割ヒタイノデアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 先刻唯アラッボク申上ゲマシタカラ、各品ニ付テ一品毎ニ申上ゲマセデシタカラ、御疑ガアルヲラウト思ヒマス、牛ノ一割ヲ依然トシテアルノハドウ云フノカト云フデアリマス、牛ハ本來ガ廉イノデゴザイマス、一割ニナッテ居ルデアリマス、此以上牛ノ如キハ下ゲヌデモ宜カラウト云フノデ一割ニシテ置キマシタ、ツマリ綿羊ト山羊トノ一割五分ト云フモノハ少シ高イカラ、五分位低クシタ方ガ鈎合上宜カラウト斯ウ云フ趣意デアリマス、ソレカラ日本ノ畜産ニ付テドウ云フ關係ヲ以テ稅率ヲ定メルカト云フコトニ付テハ、無論日本ノ畜産ト云フモノハ眼中ニ置カレテ居リマス、是ハ段々先ノ方ニ進シテ行クト、ソレ等ノ點ガ現ハレテ居リマス、第四類ノ皮毛、骨角、齒牙、甲殼類ト云フヤウナ所ヲ御覽ニナッテモ、牛ノ皮ト云フヤウナ其皮類ト云フノモ畜産ノ考ヲ入レテ、サウシテ稅率ヲ定メタデアリマス、工業ノ側カラ見マスルト斯ノ如キモノハ無稅ニシテモ宜イト思ヒマス、ソレバカリデハナク、畜産農業ト云フモノヲ認メナケレバナラヌト云フノデ、斟酌シタノデス、牛肉モドウシテ廉クシタカト云フ御問デゴザイマス、三割ト云フノハドウモ現行ノ三割ハ少シ高過ギルデヤナイカト思ヒマス、カ、他ノ品物ノ鈎合ヲ見マシテ少シク下ゲタデアリマス、斯ウ云フ譯デ、無論日本ノ畜産ト云フモノヲ決シテ見込ナシト云フ風ニ見テ居リマス、大ニ眼中ニ置イテ居リマス

○千田軍之助君 此關稅ノ改正案ノ大體ヲ見ルニ、政府ハ兎角經濟界ノ一部ノコトハ知ッテ居ルガ、全體ノ事實ヲ知ラヌタメカ、甚ダ不穩當ノコトガ澤山アリマス、就キマシテハ此場合外務省及農商務省ノ委員ヲ此方ニ出席スルヤウニ……

○委員長(野田卯太郎君) ソレハ出席スルコトニナッテ居リマス

○千田軍之助君 外務大臣モ見エマス

○委員長(野田卯太郎君) 外務大臣ノ方ハ來ラレナイト先刻申シテ參リマシタ

○千田軍之助君 代リガアリマス、一體政府ハ經濟界ノ一部シカ知ラヌデス、土臺事實ト云フモノヲ知ラヌ改正ナドハ出來ルモノデハナイ、宜シク外務省カラ……

○委員長(野田卯太郎君) 農商務省ハ來マシタ、外務省ノ方カラモ來マセウ

○木村長君 今ノ續キヲ一割ヒマスガ、牛ノ割合ニ廉イト云フノハ何故デ廉イノデア

ルカ、ソレカラ豚及綿羊ノ如キ二割五分ヲ五分下ゲタト云フト、割合ニ高カッタ下ゲタト云フ、其割合何ヲ標準トシタデアルカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラモウ一割骨トカ皮トカニ稅ヲ掛ケルノハ、保護ノ途ヲナスノデアルト云フコトデアリマスガ、ソレガ大ニ分ラヌ所デ、此

畜産ト云フモノ、發達助長ヲ圖ッテ、皮ヤ骨ヲ保護ヲ加ヘルト云フ主義ハ何處ニアルノデアルカ、元ヲ拵ヘナイデ、唯外カラ皮ヤ骨ヲ買ッテ加工スルト云フデケラ以テ、保護ガ出來ルト思ッテ居ラル、ノデアルカ、或ハ内地ニ於テ發達助長セラル、見込ガアルト云フナラバ、其原料マデモ生産スルト云フ見込デ居ラレルノデアルカ、其點ヲ明カニシタイノデアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 木村君ヨリ御尋ノ此割合ト云フモノハ、綿羊ガ二割五分デ牛ガ一割ト云フコトニ現行ハナッテ居リマス、若シ活キタル牛ヲ入レテ食用ニ供スルト云フ點カラ見レバ、二割五分ト一割ト云フホド二割ト云フ大キイ差ノアルモノデハナカラウト考ヘテ居ルデアリマス、ソレヲ換言スレバ現行ノ二割五分、一割トナッテ居ルノハ鈎合ッテ居ラヌカラ、片方ノ高過ギルト云フノヲ少シク廉クシテモ宜カラウト、又一割ト云フノハ元々高イ稅デアリカラ是ハ勸カサヌデモ宜カラウト云フノデ、斯ウシタノデアリマス、ソレカラ皮ヤ骨ヲドウスウト云フ御問デアリマスガ、種用ノ以外ニ牛ナドハ耕作用ニ飼フノモアリマス、之ヲ殺ス時ニ於テハ肉ト骨ト皮ガツマリ牛ノ產物デアアルノデスカラ、生キタモノハ買ハズニ置イテ、唯骨ヤ皮バカリヲ稅ヲ掛ケルト云フノハ分ラヌト仰有ルケレドモ、ヤハリ生ノ皮ガ漸々外國カラ廉ク入ッテ來レバ、ツマリ内地ノ畜産ハソレニ依ッテ不利益ヲ受ケル、ソレデケノコトヲ私ハ申シタノデアリマス、皮ヤ骨ニ依ッテ畜産ヲ保護スルトハ申サヌデス、ソレモ相當ノ政策ヲ置ケバ、内地ノ畜産業ハソレニ依ッテ利益ヲ蒙ルト云フコトヲ申シタノデアリマス

○木村長君 愈々分ラナクナル、皮ヤ骨ヲ以テ保護セララル、精神ナラバ、何故ニ主要ノ目的物デアルトコロノ生ノ肉ニ依ッテ保護ナサレヌデアリマス、皮ヤ骨ヲ保護シテ置カケレバ畜産ノ發達ガムツカシイト言ハレルナラ、皮ヤ骨ハホンノ副産物ノモノデ、眞ニ保護ノ精神ガアルナラバ何故ニ肉ノ二割ヲ一割ニ減セラレヌデアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 此以上ニ於キマシテハ討論ニナラウト思ヒマス、肉ニハ二割掛ケテアル發案ノ趣意ハ二割デ相當ダト思フ、決シテ保護ハ肉ニハ致サヌト云フノデハナイ

○木村長君 サウスルト、肉ハ二割ヲ一割ニ下ゲ、皮ヤ骨ハ相當ノ保護ヲ加ヘテ居ルカラ、我國ノ畜産ト云フモノハ是デ關稅上ノ保護ガ與ヘラレテ居ルト云フ考カラ、此ノ如クセラレタデアリマス、決シテ議論ハ致シマセ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 皮、肉ト云フコトヲ私ノ申シタノデ問題ガ少シ横道ニ這入リマシタガ、皮ヤ肉モ畜産ノ上カラ考ヘテ居ルト云フコトヲ申シマス、ソレヲ牛

肉ヲ一割ニシタト云フコトハ、マルデ牛肉ヲ廉ク入レルヤウニシタト云フ風ニ御取リカ知リマセヌガ、政他府意思ハサウデナイノデアリマス、牛肉ハ御承知ノ通り、皮ヲ剥イデ臟腑ヲ取ッテ、骨モ附イタノガ這入ッテ來ルノガ精鮮ナル牛肉デアアル、若シ此牛肉ヲ三割ト致シ

テ牛ノ方ヲ一割ト致シマス、此間ニ餘リ差ガアル、一割ノ差ガアリマス、今度ハ更ニ殺シタ肉ノ代リニ牛肉ノ方デ生キタ牛ニナッテ這入ッテ來ルト云フノデアリマス、ツマリ其間ニ双方ノ鈎合ヲ取ルヤウニシテ置カケレバイカナイ、生ノ肉デアリマスレバ臟腑モアレバイロノ、不用ナ部分ガアリマス、殺シタ精鮮ナル肉、牛肉デアレバ皮ハ取ッテアル

シ、臟腑モ取テアルシ、唯骨ダケガ附イテ居ルケレドモ、生キタ牛ヨリモ目方カラ比ベマシテモ値段カラ比ベテモ、料理シテ持テ來タ牛肉ノ方ガ値ガ高イ、ソコカラ鈎合ヲ取ッテ他ノ食料品カラノ權衡ヲ見テ、稅率ヲ極メタノデアリマシテ、一割ヤ二割デハ畜産ノ

保護ノ目的ヲ達シナイト云フ木村君ノ御意見デアレバ、ツコハ私共ノ見ル所ト説ノ岐ルル點アリマスガ、説明ヲ申上ゲルト此通リデアリマス

○木村良君 説ガ岐ル、所ハ討論ノ際ニ致シマスガ、兎ニ角三割ト出テ居ルモノヲ二割トスルト云フコトハ、面倒アルト云フコトハ蓋シ御認メデアラウト思フ、此ノ如キ變動ヲ與ヘテ、而シテ生牛ニハ同稅率ヲ掛ケテ、内地ノ畜産ナルモノガ適當ニ保護シ得ラレルモノデアルト云フ見地カラヤラレタモノデアルト云フコトヲ伺フテ置クノデアリマス、ツマリ肉ノ方ハ三分ノ一——三割三分ト云フモノヲ減ズル、更ニ牛ハ其儘ニシテ置ク、ヤハリ精神ハ内地ニ於ケル保護ノ精神ガ十分アルト云フ精神カラ御ヤリニナツタノデアルカ、モウ一ツ伺ヒタイノハ、生キテ居ル牛、馬、羊、豚等ヲ御入レニナルニ、減率若クハ現稅率ノ儘デアリマスルニ拘ラズ、一面食料ノ方デ上ツテ居ル傾ガアリマスガ、是ハドウ云フ御考デアリマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 木村君ノ御尋ハ五十二項ノドレデスカ

○木村良君 甲デス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) ソレハ先刻申上ゲタノデアリマシテ、此位ノ程度ニ致シテ置ケバ、一方ハ牛肉ガ今日必要ナ食料品ニナツテ居ル、ソレヲ高クスルト云フコトハ又考ヘネバナラヌト云フコトカラ、他ノ食料品トノ鈞合ヲ考ヘテ、此位ガ程度デアラウト云フコト極メタノデアリマス

○木村良君 私人伺ヒマスノハ三割ガ二割ニナルト云フコトハ減ルノデアル、ソレデ以テ畜産上ノ變化ト云フコトハ——變化ト云フコトハ、斯ウ云フ際ニハ餘程利害ノ關係ガ多イノデアリマス、其二分ノ一ヲ減スト云フコトハ即チ畜産業者ニ非常ナル苦痛ヲ與ヘルコトデアルト云フコトヲ認メテ居リナガラ、外ノ理由ハ別ト致シマシテ、之ヲ敢テセネバナラヌカト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 繰返シ御答フシタ積リデアルノデス、木村君ハ二割デハドンノ這入ルト云フコト、吾々ハ二割ガ適當アルト云フコトヲ繰返シ申シマシタ、其以上尙御論及ニナルコトハ別デアリマスガ、説明ヲ申上ゲルコトハソレダケデアリマス

○小川平吉君 今畜産ノコトガ出テ居リマススカラ農商務省ノ人ニ御尋シタイ、一體牛肉ノ如キモノハ——牛肉バカリデナイ、牛ノ皮トカ骨トカハ大切ナ品ニナツテ、需要ガ益殖エテ居ル、然ルニ供給ガ之ニ伴ハヌ有様デアリマス、此關稅ニ依ツテ保護スル方法ノ外ニ、政府ノ畜産ノ發達ニ付テドウ云フ風ナコトヲシテ居ルノデアルカ御尋シタイ、其外ニドウ云フコトヲ政府ガシテ居ルカト云フコトハ、關稅ニ付テモ吾々ハ考ヘナケレバナラヌ大切ナ問題デアル、畜産ノ保護發達ニ付テ、吾々ハ常ニ不十分デアルト云フコトヲ感シテ居ルカラ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(下岡忠治君) 唯今ノ小川君カラ畜産ノ大體ノ遣方ハドウ云フ風デアアルカト云フ御尋デアルガ、日本ノ畜産業ノ大體ハ、各國ニ比較シテ非常ニ幼稚デアルト云フコトハ慥カニ其通リデアリマス、第一牛ニ付テ申シマスレバ、現在日本ニアリマスニコロノ牛ノ頭數ハ約百二十万頭デアリマス、統計ノ上デアリマススカラ事實ニ於テハ多少ノ違ヒガアルカモ知レマセヌガ、大體ニ於テ百三十万頭デアリマス、戰爭前ニ於テハ約百三十万頭位アリマシタニコロガ、戰爭ノ際ニ牛肉ノ罐詰ト云フモノ、需要ガ多クッタメニ、

一時非常ニ牛ヲ餘計殺シテ、ソレニ伴フ生産ガ無クッタメニ、御承知ノ通り牛肉ノ値段ガ非常ニ騰ツタ、東京市中ノ中等ノ肉ガ三十五錢、四十錢ト云フ高價ヲ唱ヘルコトニナツテ居ッタガ、併ナガラ戰爭ガ過ギテカラ段々生産ガ殖エテ來テ、元ノ通り位ノ程度ニ戻ツテ、約百二十万頭位ニナツテ居ル、屠殺スル數ハ年々二十萬頭近ク屠殺スル——去年ハ二十万頭ニ少シ足ラナカッタガ、戰爭當時ノ缺陷ヲ受ケタモノハ三四年來補ナフコトニナツテ、殆ド從前ノ通り位、若クハ從前ヨリ少シ多イ位ニナツタメニ、全體ニ牛ノ値段ガ非常ニ下ツテ來タ、東京市中アタリノ牛ノ小賣ノ價格ハ比較的下ッテ居リマセヌガ、大體ニ於ケル牛ノ價格ハ下ッテ來テ、屠殺場ニ於ケル價格、卸賣ノ價格、或ハ生産シタ時ノ小牛ノ直段ハ下ッテ居リマススカラ、其事カラ言フト市中ニ於ケル牛肉ノ直段ハ下ラナケレバナラヌガ、イロ／＼市場ノ經濟關係ノタメニ、サウ云フ事ニナツテ居リマセヌケレドモ、大體ニ於テハ下ガル趨勢ヲ有シテ居ルヤウニ思ウテ居リマス、政府ガドウ云フ風ニ施設ヲシテ將來ノ日本ノ畜産業ニ對スル遣方ヲスルカ、又現在ドウ云フ事ヲシテ居ルカト云フコトニ付テハ、一番日本デハ牝牛ガ餘計遊デ居ル、若シ生産ヲ餘計ニシヤウト思ヘバ、牝牛ヲ遊バサズ子ヲ産マス遣方ニスレバ日本ノ牛ヲ殖ス餘地ハ非常ニ多イ、一方飼料ノ關係カラ云フト、日本ハ原野ガ比較的小ナイ、北海道ノヤウナ處ハ例外トシテ、内地ニ於テハ比較的原野ガ少ナイ、從ツテ牧草モ比較的小ナイト云フ點ハゴザイマスケレドモ、併ナガラ外國ノ例カラ云ヘバ、小サイ國ガ畜産業ガ發達シテ居ルヤウナモノデ、例ヘバ瑞西ノ如キ、丁抹、和蘭ノ如キ、皆畜産業ガ發達シテ居ル、又市場ノ點カラ云フト、之ヲ供給スル方法ガナイ譯デナイカラ、將來牛ノ產額現在百三十万頭ト云フモノヲ殖シテ、或ハ二百萬頭ニスル、二百五十萬頭ニスルコトモ出來ナイコトハナイ、經濟關係ニ於テ相當ノ途ガ著クナラバ、出來ヌコトハナカラウト云フ考ヲ以テ、現在政府デヤツテ居ル施設ハ、今年ノ豫算ノ御協贊ヲ經タモノニ付テモ、畜産業獎勵費ガ二十六萬圓程ノ支出ニナツテ居ル、其外ニ小サイモノガ二三十萬圓要求シテ居リマスガ……ソレヲドウ云フ風ニヤツテ居ルカト云フト、北海道ノ月寒ニ種畜牧場ヲ設ケル、又廣島縣ノ七塚原ニ種牛場ヲ拵ヘル、月寒ハ支場ヲ濫谷村ニ持テ居ル、豚、羊、鶏ノ方ニ段々ト進ンデ行クコトヲ圖ツテ居リマスガ、種畜牧場デドウ云フ事ヲヤルカト云フト、年々二十六萬圓中ヨリ西洋ノ良イ牛ヲ買ツテ來テソレヲ育テ、子ヲ産マス、或ハ巡廻交尾——各縣ノ要求ニ應ジテ交尾ヲサス、或ハ種畜牧場ニ於テ殘リノ物ヲ要求ニ應ジテ種テ付ケル、種牝牛ヲ段々多ク拵ヘテ各縣ヘ配付スル、各縣ニ於テモ自分デ西洋カラ牛ヲ買ツテ來テ、一般人民ノ望ニ應ズルト云フコトニシテ、大分種類ノ改良ト云フコトヲヤツテ洋種ノ數ハ殖エテ來タ、此種類ト云フコトガ畜産業カラ云フト重大ノ問題デアツテ、必シモ西洋ノ種類バカリヲ入レルト云フノガ能デモナイ、一方ニハ日本ニ在ルノ牛モ長所ノ在ル所ハ發揮セシムル必要ガアルノデ、種類改良ニ力ヲ入レルト同時ニ、政府ガ一番先キニヤラナケレバナラヌコトハ、數ヲ多クスルコト、畜産ノ頭數ガ百三十万デハイカヌ、農家ニ遊ンデ居ル牛ヲシテドン／＼生産セシムル、ソレデイロ／＼便宜ヲ與ヘテ廉ニ種付ガ出來、供給ニ付テモ便宜ヲ取ラナケレバナラヌト云フ考ヲ持ツテ居ルガ、現在ノ施設ダケテ將來豫定ノ通り進行シテ行ク二十分トハ思ツテ居ラヌ、二十六萬圓デハイカヌ、モット進ンデ種畜牧場ヲ殖ス、種牛場ヲ殖スト云フ考ハゴザイマスガ、一時ニスルト云フコトハ

財政上ノ關係モアリマスカラ、徐々ニ進行スルヤウニト云フ考ヲ持テ居リマス、要スルニ政府ノ考トシテハ日本ノ畜産業ハ現時ノ狀態ヲ以テ十分是以上ニヤリ惡イト云フ考デハナイ、マダ發達ノ餘地ハ多イ、是ニ付テハ政府ナリ地方ニ於テ、力ヲ盡スト云フ必要ガアルデアラウト思ヒマス

○小川平吉君 誠ニ能ク分リマシテ感謝致シマス、此牛ノ問題ハ大切ノ問題デアルト思フ、吾々ノ日常ノ食品デアリマシテ、其數ガ僅ニ百三十万頭ト云フ、實ニ我國ノ牛ノ數ハ憐レナ數デアル、ドウシテモ四百萬頭、五百萬頭ニナラナクハナラヌト思フ、ソレデモウチヨット御尋シテ置キタイノハ、種牛ノ改良ニ付テ十分力ヲ用ヰフル、ハ結構ノコトト思ヒマスガ、數ヲ殖ヤスト云フコトニ付テ現ニドウ云フコトヲシテ御出ニナルカ、モウ少シ伺ッテ見タイ、數ガ殖エテ來レバ或場合、關稅ヲ安クシテ宜イト云フコトニナルト思ヒマスカラ……

○政府委員(下岡忠治君) 數ヲ殖スコトニ付テハ、御承知ノ通り牛ニ付テハ耕用——百姓ガ耕作ニ使フト、乳用、肉用ト大體三ツニ分ケナクハナラヌガ、日本デハ是ガ各々離レテ居ル傾向ガアルノハ、畜産業ノ發達上ニ影響スルコトデアッデ、此三ツガ兼帶ニ行クコトガ必要デアル、市中ノ近邊ノモノハ乳用專門デモ宜シイガ、日本全體カラ言フト百姓ガ一旦耕作ニ使ッテ、サウシテ子ヲ産ンデ、其乳ノ餘リハ何カニ使ッテ、年ガ行ッテ肉用ニ使フト云フ、耕、食、乳、此三ツガ兼帶ノモノニシテヤラスト云フコトニシテ行カナクハナラヌ、種類ノ改良ハソコニ關係ヲ以テ居リマスガ、頭數ヲ殖スト云フ上ニ付テハ唯安イ牛ヲ拵ヘルト云フデケデハ算盤ガ取レヌ、或程度ニ於テ種類ヲ改良シテ、出來タ物ハ相當ニ賣レルト云フコトガナクハナラヌ、兩方聯關シテ居ルモノデアリマスカラ、成ベク種ヲ掛ケテモ、掛料ニ五圓取ラレルトスレバ其上ニ遠方ヘ引張ッテ行ク雜費モ要リ、手數ヲ掛ケルコトニナルト、二十圓モ要ルコトニナルト、精算シテ見テ其物ノ價ト資本ト差引イテ利益ガ無イトナルト、ヤカマシク言ウテモヤラヌハ無理ハナイ、故ニドウシテモ種付ヲ便利ニシテ、成ベク安ク成ベク簡易ニ出來ルト云フコトニシ、一方ニ於キマシテハ御承知ノ通り、今日ノ牛馬賣買ト云フコトニ付テハ非常ニ弊ガアル、所謂博勞ナル者ハ隨分弊ノ多イモノガアリマシテ、所謂生産者ト消費者ニ於ケルコロノ關係ヲモウ少シ密接ニシテ、消費者ノ方ハ成ベク安ク買ヘルヤウニシ、生産者ノ方ハ消費者ニ安ク賣ルト同時ニ、自分ニモ相當ノ利益ガアルヤウニスル必要ガアリマスカラ、此牛馬賣買ト云フコトニ關スル組織ヲ改メルト云フヤウナコトモ、ヤッテ行ケバ確カニ宜イ、サウシテ農民ガ自分ノ耕用ニ使ッテ居ル牛モ、各ツレニ對シテ成ベク生産ヲヤルト云フコトニスレバ、頭數ヲ殖スコトモ出來ルニ違ヒナカラウト云フ考ヲ有シテ居リマスガ、併シ是ハハトモ急ニ一度ニ現在ノ百二十万頭位ノモノヲ、暫クニシテ二百萬頭ナリ二百萬頭ナリニスルコトハ出來マイト思フ、徐々ニ殖スコトハ確ニ出來ル見込ガアラウト思ヒマス、尙附加ヘテ申シマスガ、日本デ牛馬耕ヲヤッテ居ル處ハ未ダ極ク少イ、ヤハリ人力デ耕スト云フ方ガ多ウゴザイマシテ、ドウシテモ農業ノ上カラ考ヘテ見ルト、所謂勞力經濟ト云フコトカラ言フト、牛馬耕ト云フモノヲ普及シナクハナラヌト云フコトハ、政府ノ農業獎勵ノ方針ニナッテ居ル、此牛馬耕普及スレバ普及スル程自然牛馬ガ要ッテ來ル譯デアリマス、馬ノ方ハ御承知ノ通り餘リ殖ヤスト云フ方針ヲ政府ハ執ッテ居ラヌガ、牛ニ對シテハ種類ヲ改良ス

ルト同時ニ、頭數ヲ殖サウト云フ考デヤッテ居リマス、即チ馬ノ方ハサウ殖サズシテ牛ヲ殖ヤス、サウシテ牛馬耕ノ區域ヲ擴メルト云フコトニナルト、牛ガ餘程要ルコトニナル、サウ云フ工合ニナッテ行キマシテ、牛ノ需要等モ増シテ行クカラ、自ラ生産モ殖シテ行カナクチャナラヌト云フ考ヲ持ッテ居リマシテ、之ニ付テハ既ニ計畫——ト云ヒマスガ、計畫ハ出來テハ居リマスガ、マダ具體的ノ所マデ行ッテ居リマセヌカラ、詳シク申上ゲルコトガ出來ナイノハ遺憾デゴザイマスルガ、大體ヲ申セバサウデゴザイマス

○淺羽靖君 此綿羊デゴザイマスルガ、從來ハ二割五分ニナッテ居リマスガ、今度ハ二割ニナッテ居ル、今ヤドウモ濠洲其他ヨリ我國ニ羊毛ノ洺々ト輸入スルコトハ、年々毛織物ノ需用ガ増スニ從ッテ非常ナル勢デ以テ輸入シテ居ルノデアル、日本ニ輸入スルコロノ現在ノモノデ大ナルモノハ、無論綿デアルト云ッテ居リマスガ、其次ハ綿羊毛デ、非常ニ用ヰツ、アル、遂ニハ綿ノ輸入ト同シヤウニ至ラントスルヤウナ勢ニナリハセヌカト考ヘテ居リマスガ、此綿羊毛ト云フコトニ付テハ、餘程注意ヲ拂ッテ居ルノデアリマスガ、然ルニ吾邦ノ綿羊毛ノ牧畜ナドハ頗ル幼稚デアッデ、大ニ獎勵セニヤナラヌト云フ考ヲ有シテ居ルニ拘ラズ、此關稅ニ於テハ却テ五分ヲ減シテアルト云フコトハ甚ダ分ラヌデゴザイマス、第二ニ伺ッテ置キタイノハ、牛馬ハ是迄ノ現行稅率ト變リハアリマセヌガ、此稅率デ以テ今後據置キニシテ置イテモ、吾邦ノ牛馬其他豚等ノ牧畜上ニ於テ、外國ノ輸入物ニ壓セラル、ト云フ懸念ハ無イト當局者ハ見テ居ルノデアリマスガ、此二點ヲ伺ッテ置キタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 淺羽君カラ綿羊ニ付テ御尋ガアリマシタ、此生類ニ關スル綿羊、即チ綿羊毛今日ハ至ッテ少數デアリマス、四十一年ニ入りマシタ頭數ガ六百八十一頭デアリマス、ソレデ羊毛ノ澤山入りマスコトハ是ハモウ御説ノ通りデアリマス、綿羊ニ付キマシテハ、内地デ綿羊毛飼育シテヤッテ居ルト云フ事業ハ至ッテ振ハヌデゴザイマス、將來固ヨリ畜産ノ獎勵上ニ是等ノモノモ數ヲ殖ス、盛ニスルト云フコトハ無論必要ノコトダラウト思ヒマス、ソレカラ二割五分ヲ二割ニシタト云フコトニ付テハ先刻モ申上ゲタ通り、外ノ生活力ヲ要スル動物トノ均衡比例ヲ考ヘタノデ、牛ト云ヒ綿羊毛ト云ヒ、此二者ノ間ニサウ稅率ガ廣ク開クベキモノデハナカラウ、成ベク是等ノモノモ近アケテ宜シイモノデアラウ、斯ウ云フ趣意カラ五分ヲ減シタト云フコトハ、先刻木村君ノ御問ニ御答シタ通りデアリマス、決シテ畜産ノ獎勵ト云フコトヲ關稅局ニ於テ無視シテ居ルヤウナ考デハ無論ナイノデゴザイマス

○千田軍之助君 外務省ノ政府委員ガ見エテ居ラヌヤウデスガ……

○主査(野田卯太郎君) 見エテ居リマス

○淺羽靖君 モウ一ツノ問ニ對シテ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 牛馬ハ現行ノ通りニ據置イデアリマス、是ハ御承知ノ通り馬ハ五分デアリマス、牛ハ一割デアリマス、是ハ今日ノ儘デ相當デ別ニ變更スル必要ハナカラウ、斯ウ云フ考デ據置イタノデアリマス

○千早正次郎君 唯今牛ノコトニ付テハ詳シイ御説明ヲ承リマシタガ、此綿羊毛ト云フモノハ内地ヲ將來保護ニナリマシタラ繁殖ヲ見ル御見込デアリマスガ、其事ニ付テ詳シク承リタイ

○政府委員(下岡忠治君) 御答致シマスルガ、綿羊ハマア大ニ見込アルトハ見テ居ラヌ、絶對ニ日本デハイカナイト云フ考デモゴザイマセヌガ、例ヘバ九州ノ島原デチヨットヤツテ居ル處モゴザイマセヌシ、又大阪デヤツタコトモゴザイマセヌシ、茨城縣デモヤツタシ、北海道邊リデハ大分ヤツテ居ル處ガアルガ、大阪デモ失敗シタト云フモ宜イシ、茨城モ微々タル状態デアル、島原デヤツテ居ル状態モ大ニ望ムアルト云フコトハ申サレマセヌ、北海道ノ方ハ幾分望ガ多イト云フ考ヲ持ッテ居リマスガ、大體カラ見マス餘リ綿羊ノ如キ、日本ノ土地ニ於テハ適當デナイモノヲ無理ニ獎勵シテ、所謂羊毛ヲ防グト云フ政策ヲ執ルト云フヨリハ、ヤハリ蒙古デアルトカ濠洲デアルトカ——大體斯ウ云フモノハ日本デ供給スル見込ガナイ以上ハ、ソレヲ入レル、併ナガラ餘地ガアルモノナラバ北海道デアルトカ其他デ——或ハ斯ウ云フ考モアルノデス、農家ガ總シテ飼フコトニナラナケレバ算盤ガ取レナイ、例ヘバ大仕掛ニ九州ナラ九州、中國ナラ中國ノ方面デ大仕掛ニ羊毛ヲ造ラヌ以上ハ、見込ハナカラウ、現在ノ所デハ唯農家ガ三頭飼フトカ五頭飼フトカ云フ遣方モ、マシザラ見込ガナイコトハゴザイマセヌケレドモ、是モ大シテ有望ナル事業ナリトハ認メラレヌカラ、大體カラ綿羊ハ政府ガ羊毛ノ外國カラ入ッテ來ルコトヲ防グタメニ、内地デ大ニ獎勵シテヤラウト云フ考ハ持ッテ居リマセヌ

○千早正次郎君 亭ニ豚ハ……

○政府委員(下岡忠治君) 豚ハ大ニ見込ガアラウ、豚ノ方ニ付テハ日本人ナドニハ飼養スル習慣ガナイノト、喰ベルト云フコトニ於テモドウモウ一ツ宜イ習慣ガ出來テ居リマセヌカラ、サウ云フ經濟上ノ關係カラシテ、農家ニ於テハ進シテ居リマセヌケレドモ、前途ハ餘程見込ガアル、日本ハ鶏ト豚トハ能ク飼フノ宜イノデゴザイマセヌ、將來大ニ見込ガアル、現ニ鹿兒島デゴザレ沖繩デアレ、試産等モ多イノデアリマシテ、アノ筆法デ此方ノ方面デヤリマシテモ、氣候ノ關係風土ノ關係デ、ソレ等ノ點カラ見テモツレガ殖エルニ隨ッテ需用ガ殖エル、デ農家ガ之ヲ飼フ習慣ガ出來ルト云フコトニナレバ、大ニ見込ガアルト云フ考デ、之ニ付テハ政府ハ何處マデモ内地ノ需用ニ供給スルハ勿論ヤリタイノミナラズ場合ニ依リマシテハ鹽漬ニシテ向フニ出スト云フコトモ考ヘテ居リマス

○水間此農夫君 牛馬ノコトニ付テチヨット御尋シタイノデアリマスガ、馬ノ方ハ五分ニシテ牛ノ方ハ一割ニシテアリマスガ、是ハ單ニ從前ノ稅率ガサウナッテ居ルカラ、別ニ變ヘル必要ガナイカラト云フヤウニ聞ヘマシタガ、併ナガラ今回改正ヲセラル場合ニ於テハ馬ハ五分デナケレバナラヌ、牛ハ一割位デ宜カラウト云フ理由ハ御研究ニナッダラウト思フガ、食料ノ方カラ言ヘバ寧ロ牛ノ方ガ安クナケレバナラヌト思フノデスガ、牛ノ方ヲ高クシテ馬ノ方ヲ安クシテアル理由ヲ、御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 牛ト馬ハ共ニ現行ノ稅率ヲ動かサヌト云フコトニ致シマシタ、唯此兩者ノ間ニ五分ノ差ヲ設ケタト云フコトハ、大體ガ從前ノ現行ノ稅率ヲ動かサヌト云フノガ主タル考デアッタノデアリマシテ、稅率ニ兩者ノ間ノ割合ハ斯クナケレバナラヌト云フ其大ナル理由ハ持ッテ居リマセヌノデス、唯馬ノ方ニナリマス、是ハ食料ト云フ方ガ主トナッテ居ルマイルト思ヒマス、牛ノ方ハ食料其他ノ用ニモ使ヒマスガ、馬ノ方ハサウデアリマセヌデ、耕作用トカ農業用トカ云フコトガ主トナッテ居ルヤウデアリマス、其邊ノ關係カラ見マシテモ、馬ノ方ハ牛ヨリモ稅ガ低クッテ宜シカラウ、斯ウ云フコトデ兩者ノ間ノ差別

ヲ付ケマシタノデアリマス

○山本悌二郎君 私モ今御説明ニ付テ更ニ伺ヒタイノデスガ、馬ガ五分マシテアルト云フコトハ私共少カラズ政府ノ方針ニ付テ疑感ヲ懷カサルヲ得ナイノデス、聞クトコロニ據レバ北海道ノ如キハ產馬地トシテ最モ適當デアル、又南部地方デモサウデアルガ、何シロ現今ノ所デハ馬ノ値段ガ餘リ宜クナイト云フガタメニ、十分ニ發達スルコトガ出來ナイト云フコトデアル、ソレデ一面ニ於テハ、政府ハ馬政局ト云フヤウナモノヲ設ケテ、盛ニ内地ノ產馬ト云フモノヲ獎勵シツ、アル、而シテ一方ニ於テハ又値段モ十分ニ張込シテ買ッテヤラナケレバ十分發達スルコトガ出來ナカラウト云フ理由デ、現ニ今年ノ豫算ノ上ニ於テモ、陸軍省ノ馬ノ買上値段ハ一頭ニ付テ三千圓宛モ増加シテ計上シテアルト云フヤウナコトデアル、斯ノ如ク政府ハ種々ナ方面ニ於テ内地ノ產馬ノ獎勵ヲ計リツ、アリナガラ一面ニ於テハ外國馬ニ向ッテ、日本ノ馬ノ價ヲ保護スルコト云フコトニ最モ必要ナル關稅ヲ、僅ニ五分ニ止メタト云フコトハ、是ハ甚ダ政策ノ矛盾ヲ表明シテ居ルモノデハナカラウカト、思フ、ツマリ五分ト云フコトニシマシタノハ、最早日本ノ產馬ハ見込ハナイカラ、單ニ財政上ノ收入ダケニ止メテ置イテ宜イト云フコトデ五歩ニシタモノデスカ、其邊ノコトヲ承リタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 牛馬ノ稅率ノ違ヒマスノハ只今申上ゲタ通りデアリマス、尙山本君ノ御問デアリマスガ、馬ノ實際輸入シマシタ狀況ヲ見マスルト云フト、至ッテ少ナイ、入ッテ參ラヌ、參ラヌノデハアリマセヌガ入ル數ガ極ク少ナウゴザイマス、到底牛ノ比較デハゴザイマセヌ、サウ云フ場合デアリマスカラシテ、強イテ茲ニ馬ニ高イ稅ヲ課サナケレバ内地ノ產馬ト云フモノガ立行カヌト云フ實況デハナイ、サウ云フ譯デ先刻申上ゲタヤウナ理由デ、馬ハ五分デ別段今日ノ現行稅率ヲ動かサヌデモ宜カラウト、斯ウ云フコトデ馬ニ付テハ五分ト致シマシタ

○山本悌二郎君 尙重ネテ伺ヒマス、馬ノ輸入ニ付テハ何カ參考書ガ來テ居ルヤウデアリマスカラ、見マシタラ分ルデゴザイマセウガ、ドノ位ノモノデスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 四十一年度デ申上ゲマス四百三十三頭デス

○山本悌二郎君 サウシマス、五分ニスルト云フ理由ハ今別ニ外國馬ノ競争ヲ受ケテ居ラナイカラ、ツマリ關稅ヲ高クシテ内地ノ產馬ヲ保護スル必要ハナイ、斯ウ云フ理由デスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 大體其理由デゴザイマス

○委員長(野田卯太郎君) チヨット此際報告ヲシマセウ、議長ノ方カラ衆議院デ請願ノ決議シタモノガゴザイマス、其モノヲ此方ニ二通送ッテ來マシタカラ讀ミマス、關稅定率法輸入稅法中改正ノ請願、米初輸入關稅引上ノ請願、地租稅率ノ復舊及輸入米關稅定率改正ノ請願、此三通デゴザイマス、尤モ此第三ニ讀シタノハ百二十七通アルヤウデスケレドモ、同ジモノデアルカラト云ッテ一通送ッテ來テ居リマス、要スルニ第一ノ趣意ハ總テ輸入稅ヲ高クシテ、米ノ騰貴ヲ促スト云フノガ趣意デアル、デ後ノ二通ハ唯地租ト單ニ米初ト云フダケノ差デアッテ、地租ト竝ンデ出シタモノト、單ニ出シタモノトノ差ノミデゴザイマス、請願書ハ此處ニ來テ居リマスカラ御隨意ニ御覽ニナッダラ宜カラウト思ヒマス、是ダケノ御報告ヲシテ置キマス、第二類ニ移リマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第二類ハ穀物、穀粉、澱粉類及種子トアリマス、現行ノ稅率表ノ第二類ハ穀物及種子トスウアリマス、ソレニ穀粉、澱粉類トスウ云フモノヲ加ヘマシタ、是ハ品目ノ類別上、穀粉、澱粉類ハ此中ニ加ヘルノガ相當デアラウト云フコト入レタノデゴザイマス、ソコデ第二類ノ十二ノ米及粉カヲ三十二ニ至ルマデ、大體ハ現行ノ稅率ト先ツ變テ居ラヌト申上ゲテ宜シイノデゴザイマス、其中米ト粉ト付キマシテハ每百斤六十四錢、サウシテハ現行ノ通り據置クト致シマシテ、此事ハ既ニ大體ニ於テ大藏大臣、外務大臣等カラ說明サレタ通りデアリマス、ソレカラ此中ニ大體ハ一割五分ト云フノヲ標準トシテ居リマス、穀物ニ付テ十四ノ「パールバーレー」ヲ如キ、是ハ他ノ一般ノ穀物トハ少シ違ッテ、輸入スルモノハ工程ヲ加ヘタノデアリマス、ソコデハ三割ト致シマシタ、十五ノ麥芽是モ亦御承知ノ通り現行法デハ無稅デアリマス、ケレドモ、唯ノ麥ト少シ違ヒマシテ、麥ヲ工程ヲ加ヘタモノハ幾分加工シタモノデア、斯ウ云フコトヲ以テ一割五分ヨリ少シ上ゲマシタ、其他ハズツト、大體一割五分デ行キマシテ、穀粉及澱粉類ヘ參リマシテ、小麥粉「オートミール」是等ハ皆現行法ヲ維持シテ居リマス、其次ニ「マーンミール」ソレカラ二十三以下ト、是モ大體現行法ヲ維持シテ居リマス、唯茲ニ棉子ト云フノガ一ツアリマス、是モ現行法ヲ維持シテ居リマス、是ガ七分五厘トナッテ居ルハ簡單ニ説明ヲ申上ゲマス、是ハ元モヤハリ一割ノ稅デアッタノデゴザイマス、サウシテ棉子ヲ輸入シマシテ油ヲ絞リ、棉種カラ肥料ヲ造リマス、斯キハ戻稅ヲ致シテ居タ、ソレヲ四十年ノ十月ト思ッテ居リマス、四十年ノ十月カラ戻稅ヲ廢メマシテ、其代リニ棉子ノ稅率ヲ七分五厘トシ、之ヲ從價ニ換算シテ十錢トスウ云フ風ニ減シタノデアリマス、ソレカラ「二十八ノアイボリーナット」是ハ從來從價ノ一割デアリマス、無稅ト致シマシタ、其理由ハ「アイボリーナット」ト云フモノハ、日本ニ生産ノナイモノデアリマシテ、之ヲ輸入致シマシテ是デ卸類ヲ製造シテ、今日デハソレヲ外國マデ出ストスウ云フコトニナッテ居リマス、日本内地ニ於テ生産ノナイモノデアリマス、サウシテ原料タルベキモノデアリマス、然モ製品ガ外國ヘ出ルト云フコトヲ以チマシテ是ハ無稅ト致シマシタ、ソコデ尙御斷リヲ致シテ置キマス、同ク一割五分ノモノデアリマシテモ、現行ノ從價稅ト御較ベニナルト多少ノ増減ガアリマス、是ハ現行ノ三十九年ノ改正ノ時ニハ三十七年、三十八年其年々ノ調ベノ平均額ヲ取テ從價稅ト致シマシタ、今回ノ改正ニ於キマシテハ大體四十一年ノ平均價格ヲ見マシタノデアリマス、三十七八年ト今日トハ品物ノ價格ガ大分變化シテ居リマス、其變動ノ結果デ、同様一割五分ノモノデアッテモ、百斤當リノ稅金ノ割合ガ多少變動シテ殖エタモノモアリマス、減タモノモアリマス、大體一割五分ヲ維持シテ居リマス、大體ハ現行ノ稅率ト同ジヤウト申シテ宜カラウト思ヒマス

地デモツテ此棉子ヲ輸入シテ、ソレデ肥料ヲ日本デ製造スルコトガ出來ルノデア、然ルニ此肥料ヲ製造スルヲ目的トシテ居ル棉子ニ、此ノ如キ稅ヲ課スルト云フコトハ甚ダ穩カデナイト思ヒマス、又一方カラ言ッテモ、既ニ紡績ニ用ユルトコロノ棉ノ如キハ無稅デア、線綿ハ無稅デア、又實棉モ無稅デア、然ルニ其種々ケテ特ニ輸入スル場合ニ於テハ輸入稅ヲ課スルト云フコトハ甚ダ穩カデナイト思ヒマス、今ノ御說明ニ依ッテ見ルト、唯從前カラ七分五厘デアッタカラ七分五厘ニシテ置クト云フデケノ御趣意デアッテ、是ガ極メテ適當デアルト考テ居ルノデナカラウト云フコトハ、吾々モ承知シテ居ル、唯從前ノ關係カラト云フデケデアリマセウカ、一方デ農商務省ノ報告ニ依ルト、之ニ輸入稅ヲ課シタカラ棉子ノ輸入ガ減ッテ來テ、内地デ肥料ノ製造ガ出來ナクナッテ、清國カラ輸入ヲ仰グト云フコトガ參考書ニ書イテアル、ソレニモ拘ラズ之ヲ元ノ通りニ置カレタシト云フコトハ甚ダ穩カデナイト思ヒマス、其點ニ付テ御說明ヲ願ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 秋岡君ノ棉子ニ關スル御問デアリマス、棉子ノ輸入稅ノ沿革ヲ申シマス、古イ時代ニハ五分、ソレカラ三十八年ノ非常特別稅法ノ改正デ一割、ソレガ續イテ參ッテ三十九年ノ十月ニ戻稅ヲ百斤七錢——百斤二十錢デア、其代リ百斤十錢ノ稅ニスル、斯ウ云フコトニナッテ居タノヲ、四十年ノ十月ニ戻稅ヲ止シテ、其代リ百斤十錢ノ稅ニスル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、七分五厘ハ唯權衡ヲ維持スルノミデハアリマセウカ、唯今申上ゲタヤウナ沿革デアリマス、棉子ヲ輸入致シマシテ肥料ヲ製造スルノガ主デアリマス、肥料ヲ製造致シマス、同時ニ棉子油ト云フ油ガ取レル、ソコデ肥料ニハ無稅ニスルト云フコトハ、從前ヨリ關稅率ノ主義デヤッテ來テ居リマス、ケレドモ、肥料ガ製造サレルト同時ニ油ガ取レル、此油ハ——棉子油ト云フモノハ他ノ類別ニ於キマシテ相當ナ課稅ガシタルノデゴザイマス、其油ノ稅ハ相當ニ見込ムベキモノデアラウ、斯ウ云フコトデ二十錢ト七錢ノ差、即チ十三錢ノ課稅シテ居タ譯デア、サウシテ其油ハ御承知ノ通りイロ／＼ナ使用法ガアリマス、某種ノ油ノ中ニ混ジテ某種油ト稱シテ賣ル、ソレヲ又使ッテ居リマス、其外此油ノ利用ハイロ／＼ナ方法ガアルモノデアリマス、故ニ其點ヲ見テ置クノガ相當デアラウ、全ク無稅ニスルト云フト、一方棉子油ニ稅ヲ掛ケテ居ルノト鈞合ガ惡ルイ、斯ウ云フ意味デ今日百斤ニ付テ十錢稅ヲ掛ケテ居ル、其關係デ之ヲ無稅トハ致サナカッタ譯デアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 棉子ノ輸入額ノ調ベ御手許ニ差上ゲデアリマス、參考書ノ中ニアリマス、ツマリ棉子ニ一番高イ稅ノ掛カリマシタ時ハ三十八年ノ七月カラデアリマス、其前ハ五分デアッタ、三十八年七月カラ一割ニナッタノデアリマス、ソコデ棉子ノ各年ノ輸入ノ狀況ヲ見マス、三十八年七月——稅ガ、一割ニナッタ、三十八年ハ六十七萬……

○秋岡義一君 私ハ今御說明ノアッタ此棉子ノコトニ付テ御尋ヲ致シタイノデアリマス、既ニ農商務省ノ方カラ參考トシテ御提出ニナッタ書類ニ據ルモ、此棉子ノ輸入ハ非常ニ減ジテ居ル、其減ジテ居ルノハ何故デア、全ク此關稅ノ關係デアッテ、四十年以來輸入ノ減ジテ居ルト云フノハ、此關稅アルガタメデアルト云フコトデアリマス、此關稅ヲ課スルガタメニ此棉子ヲ以テ肥料ヲ製造スルコトガ内地デ出來ナクナッテ、ソレガタメニ肥料ハ却テ清國ノ方カラ輸入シテ來テ居ル、若シ此棉子ガ無稅デアラナラバ、内

○秋岡義一君 數ハ分ッテ居ル
○政府委員(櫻井鐵太郎君) サウナッテ居リマス、ソレカラ後トハ減ッテ居リマス、無

論税金も多少影響ハアツタラウト思ヒマス、併シ尙其以外ニ價格ノ變動トカ云フヤウナ
コトモ原因デアラウト思フ

○山本悌二郎君 此大豆ニ付テ御尋ネラシタウゴザイマスガ、ヤハリ大豆モ清國カラ輸
入シテ來テ、是カラシテ油ヲ取ツテ其粕ヲ肥料ニスルト云フヤウナコトガ唯今迄ハ或ハ多
クノ地方デハ行ハレテ居ラナカッタカ知リマセヌガ、近頃大分ソナ計畫ヲシヤウトスル人
モ見エテ居ルヤウデアリマスガ、之ニ對シテハ本法ノ第九條ノ戻稅ノ箇條ガ唯今ノ適用
ニナツテ居ルヤウナ次第デゴザイマスガ、若シ又コレガ適用ニナツテ居ルトスレバドノ位ノ歩
合ヲ戻スコトニナツテ居リマスガ、チヨット御尋致シマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御尋ノ通り第九條ヲ適用シテ居リマス、ツレデ大豆百
斤ニ付テ二十錢戻スコトニナツテ居リマス

○千田軍之助君 我ハ外務省及大藏省ノ政府委員ニ質問ヲ致シタイ點ガアルノデア
リマス、我國ノ農産物ノ生産高、價ノ廉ナル年デハ十四億五億アリマス、價ノ高イ年ハ十
七八億乃至二十億ニ達スルノデアリマス、即チ我國ノ農業ノ生産高ハ——此事實ヲ
外務省及大藏省ノ政府委員ハ認メテ居ルヤ否ヤ、是ハ第一ノ質問デアリマス、第二ハ
我國ノ商品其中商賣人ノ手ヲ經ル商品ト名ヅクベキモノハ凡ソ二十六億以上アルデア
リマス、其中外國へ輸出スルモノハ僅々四億デアツテ、後ト二十二億以上ト云フモノハ内
地ヲ消費スルノデアル、其中ノ七分ハ農民ガ消費スルノデアル、此事實ヲ外務省及大
藏省ガ認メテ居ルヤ否ヤ、ソレカラ第三ハ直接稅間接稅、此直接稅間接稅ノ凡ソ七
割ハ是亦農家ガ負擔シテ居ルノデアル、此事實ヲ外務省及大藏省ガ認メテ居ルヤ否
ヤ、第一ニ御尋申シタ通り、我國ノ農産物ハ價ノ廉ナル年デモ十四億ノ生産力ヲ
有シテ居ル、價ノ高イ年ハ殆ド十八億乃至二十億、價ヲ有シテ居ルノデアル、故ニ此
農産物ニ適度ノ關稅政策ヲ取ツテ、相當ノ價ヲ保タシムルヤ否ヤト云フコトハ、我國ノ
國家經濟全體ニ至大ナル關係ヲ有スルノデアル、此故ニ衆議院ハ昨午米以下ノ農産
物、即チ十幾種ノ農産物ニ對シテハ、現行ノ關稅政策ハ甚ダ輕キニ失シテ居ルカラシテ、
或程度マデ引上ゲナケレバナラヌト云フコトハ、大多數ヲ通過ヲ致シテ居ルノデアル、然
ルニ今ヤ關稅全般ノ改正案ヲ提出セラレルニ方ツテ、些細ナコトニハ力ヲ用井テ居ルケレ
ドモ、此國家經濟ニ至大ナル關係ヲ有スル農産物ニ對シテ何等ノ考慮ヲ拂ッテ居ラナイ
ト云フコトハ、政府ハ公債ガ如何ニシテラ上ルデアルカ下ルデアルカ、株券ヲ如何ニシテラ
上ルデアルカ下ルデアルカ、此有價證券ノ方面ニ付テハ確ニ知識ガアルケレドモ、其他
ノ即チ國家經濟ニ付テハ確ニ私事實ト云フモノヲ知ラナイト思フノデアル、名ハ質問ト
云フケレドモ質問ヲ利用シテ政府ニ事實ヲ知ラシメルト云フコトガ餘程意味ヲ含ンデ居
ルデアル、今申シタヤウナ事實ハ政府ニ或部分ニハ知ツテ居ルノデアラウガ或部分ハ全ク
缺乏シテ居ルト思フ

(綾部惣兵衛君) 類別表ノ質問デスカト呼フ

○千田軍之助君 此事實ヲ御承知ガアルヤ否ヤ、討論デナイ質問スルノデアリマス、今
申シタ第一問ハ生産力デアル、第二問ハ消費力デアル、第三問ハ租稅ノ負擔、此點ニ
付テ今私が述べタ事實ヲ外務省及大藏省ハ御認メニナツテ居ルヤ否ヤ
(綾部惣兵衛君) ソレハ何類ノ質問デスカト呼フ

○委員長(野田卯太郎君) 農産物ヲ保護スルカ、セヌカデラウ

○千田軍之助君 イヤ其事實ヲ御認メニナツテ居ルヤ否ヤ、ソコデ其事實ヲ御認メニ
ナツテ居ルトシテ見レバ、今日ノ關稅政策ハ甚ダ輕キニ失シテ居ルカラ、昨年衆議院ハ
或程度マデ上ゲナケレバナラヌト云フコトヲ大多數ヲ通過シテ居ルニモ拘ラズ、此點ニ付
テ何等ノ考慮ヲ爲サラナカッタ其理由如何、是ダケノ御尋ヲスル

○政府委員(秋原守一君) 唯今千田君ノ御質問中、外務省ノ關係シテ居ルトコロ
ハ、日本ノ商品ヲシテ外國ニ輸出サル、モノガ略々四億万内外デアル、斯ウ云フ事デ
アリマス、其事實ヲ認メテ居ルカドウカ、ツレハ仰シヤル通りデアリマス、併シ四億内外ノ
商品ガ出ルガ故ニ、ツレニ對シテ或ハ十四億トカ十八億トカ云フ日本ノ農産物ノナゼ保
護ヲシナイカ、保護スル程度ガ薄イトカ云フ事ニ付テハ、其當局ノ方カラ御答辯ガアルダ
ラウト思ヒマス、併シ此總テ農産物ノ保護ト云フモノ、農産物ハ即チ勞動者始メ一般
人民ノ生活ニ於テ最も直接ナモノデアツテ、是ナクンバ其日ヲ生活スルコトガ出來マセヌ
カラ、從ツテツレガタメニ甚ダシク保護スルト、重稅ヲ之ニ課スルタメニ、即チツレダケ又料
金ガ高クナルノデ、高クナレバ千田君ノ仰シヤル通り料金ノ上ガルコトハ農家ニ取ツテモ
不利益デアリマスカラ、其生活ニ直接必要ナル農産物ニ重稅ヲ課スルコトハ、宜シクナ
イ事デヤナイカ知ラヌト思ヒマス、私ノ答辯シマスコトハ先ヅ是位ナ事デアラウト思ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今千田君ノ農産物ノ價格ハ一年二十四億以上ニ
達スルト云フコトデアリマスガ、是モ統計ニ付テ御調ベニナツテ仰シヤルコトデ、吾々モ亦
其位ノ金額ニ達スルコト、大體考ヘテ居リマス、ソコデ農民ガ全國ノ多數ヲ占メテ居ル
ト云フコトモ、決シテ知ラヌノデヤアリマセヌ、今回ノ關稅率ノ改正ノ趣意ニ付キマシテ
ハ、法律ノ提案サレタトキニ、大藏大臣其他外務大臣カラモ御述ベニナリマシタ通り、
國家ノ收入、産業ノ保護ニ付テハ、農工商各業間ノ利害ノ調和ヲ圖リ、適度ノ稅率
ヲ極メルト云フ趣意カラ出來テ居ル、勿論農業ヲ度外シテ居ル事デモ何デモナイ、農業
ニ付テ考ヘルト同時ニ、商工業ニ付テモ同ジク考ヘナケレバナラヌ、何レヲ重ク何レヲ輕ク
スルト云フコトハ無論考ヘテ居リマセヌ、唯今此二類ノ問題デアリマスカラ、外ノ點ニ及
ブト却テ混雜ヲ起シマスカラ餘リ多クハ申シマセヌ、千田君ハ主トシテ二類ヲ御覽ニナツ
テ、一割五分ノ稅ニテハ低キニ失シテ居ルト云フ御考ヘノヤウデアリマスガ、關稅率全
體ヲ通ジテ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、農業保護ノ側カラ申シマス、單ニ稅率ヲ高クス
ルノミガ保護トハナツテ居ラヌノデ、農業保護ノタメニハ或物ニ付テ免稅スルコトモ農業ノ
保護ニナルノデ、例ヲ申シマスレバ肥料ヲ無稅トスル、肥料ヲ造ルタメニ大豆ノ戻稅ヲス
ルコトモ、製造業ノ便利ヲ圖レバ又農業ノ便利ヲ圖ツテ居ル、其外是ヲ穀物デアリマセ
ヌガ、茶ノ如キ即チ農家ノ副業ト云フテモ宜シイ、其他全般ニ涉ッテ御覽ニナレバ
今回ノ改正案ハ農業ヲ輕ク見テ居ルヤウナコトノナイコトガ御分リダラウト思ヒマス、唯
今大體ノ御質問デアリマスカラ、是ダケヲ御答ヲ致シマス

○千田軍之助君 今ノ第一問ニ對スル農家ノ生産ガ十四億以上ニ達スルト云フ點
ハ、大藏省ノ政府委員モ認メテ居ルト云フ答デアリマスガ、第二ノ商品即チ商賣人ノ
手ヲ經テ商品トナルベキモノガ二十六億以上ニ達シテ居ル、其内外國ニ出ルモノハ四億
餘リデ、二十二億ハ内地デ消費スル、其七分ハ農民ガ消費スルト云フ事實ハ御認メニ

ナッテ居ルカ否ヤ、此點ヲ承リタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 何割トカ何分トカ云フコトハ、私ハ正確ニ御答ハ出來マセヌ、農産物ト申シテモ如何ナル程度ノ農産(千田軍之助君「商品」ト呼フ)商品ニ付テモ其割合ハ如何ナルカト云フコトヲ茲ニ正確ニハ申セマセヌ(千田軍之助君「大略」ト呼フ)農民ガ大多數アルト云フコトヲ認メテ居ルコトハ仰シヤル通りアリマス

○千田軍之助君 其邊ノ事ヲ正確ニ御承知ガナレバ關稅ヲ適度ニ改正ハ出來ヌト思フ

○委員長(野田卯太郎君) 千田君ハ濟ミマシタカ

○千田軍之助君 マダ終リマセヌガ、今ノ質問ダケハ濟ミマシタ

○政府委員(萩原守一君) 此前々回デアリマシタカ、早速君カラ日本ノ重要輸出品ノ海外ニ於ケル待遇ハドウナッテ居ルカト云フ御問ニ對シテ、大藏省ノ政府委員カラ文書ヲ以テ御答スルト云フコトデアリマシタガ、重要輸出品ノ海外ニ於ケル稅率等ハ、條約改正準備委員ノ拵ヘタ調書ヲ豫テ諸君ニ差出シデアリマス、アノ中ニ重要輸出品ニ付テ海外ノ待遇ハ載ッテ居リマスカラ御承知ヲ願ヒタイ、從ッテ別ニハ申上ゲマセヌ

○委員長(野田卯太郎君) 休憩ヲシマスガ、一時カラ又開キマス

午前十一時五十八分休憩

午後一時十六分開議

○委員長(野田卯太郎君) 開會シマス、午前ノ續

○石橋爲之助君 豆種ノ中ニ豆糟ガ這入ッテ居リマセヌガ、是ハ何處ニ這入ッテ居リマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 豆糟ハ肥料トシテ雜品ノ中ニ這入ッテ居リマス

○石橋爲之助君 豆糟ハ肥料バカリニ用井ラレテ居リマスデセウカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 豆糟トシテハ大抵肥料ダラウト思ヒマス、外ニモ多少アリマセウカ

○石橋爲之助君 實際ノ狀況ヲ聞キマス、近來豆糟ノ使用ハ單ニ肥料バカリデナクシテ、之ヲ以テ豆腐ヲ製シ、味噌ヲ製シ、醬油ヲ製シ、イロ／＼餘程用途ガ廣イヤウニ聞イテ居リマスガ、其邊ノ所ハ能ク御調ニナッテ居リマスガ、單ニ肥料トノミダケデ、其他ニ用井ラル、場合ヲ御研究無カッタデアリマセウカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今申上ゲタ通り、種々ノ用井方ハアリマスガ、併シ大部分大ナル目的ハ肥料ニ在ルト云フノデ、ソレヲ押ヘテ取扱ッテ居ルノデアリマス、イロ／＼用途ガアルコトハ認メテ居リマス

○太田清藏君 私ハ先刻秋岡君ノ御質問ニ對シテ尙御尋シタイト思ヒマスガ、此棉種ノ税金ハ十錢トアル、處ガ此棉種ノ輸入ハ其需用ハ何レニ在ルト云フト、先刻櫻井君ノ御答ニハ、主ニ是ハ油ヲ製シテ、其糟ハ肥料ニ用ユル、斯ウ云フ御説明デアツタデス、所ガサウスルト此大豆ハ是ハ輸入ハ澤山シマスガ、其需用ハイロ／＼アリマスガ、之ニ對シテモヤハリ油ヲ製シ、其糟ハ同シク大豆糟トシテ肥料ニ用井テ居ル、又某種ト云フノハ取りモ直サズ棉實ト同ジコトデ、ヤハリ之ヲ製造シテ其油ヲ取り、其糟ハ即チ油糟

トシテ肥料ガ最モ世ノ中ニ用井ラレテ居ル、是モ肥料デアル、ソレデ大豆モ、棉實モ、某種モ、其中某種ト棉實ト云フモノハ、尤モ需用ノ途ハ同ジ所ニアル、所ガ一方ハ六十五錢ノ税金ヲ課シ一方ニ八十錢、是ダケノ等差ヲ付ケラレタ趣意ハ如何ナルデアルカ、尙油ノ輸入ノ方ニ至ッテ之ヲ見マスト云フト、棉實ガ四圓四十五錢ト云フ原案ニナッテ居ル、大豆油ハ一圓四十錢、斯ウ云フ油ノ方見マスト云フト、大豆油ヨリカモ棉實ノ油ノ方凡ソ三圓モ高イ、一方ハ八十錢ト五十錢、全ク反對ニナッテ居ル、是ハ同ジク棉實ト云フモノハ日本ノ需用ハ番外ノ御説明ノ如ク、油ヲ取ルト云フガ主ニナッテ居ル、肥料ヨリモ油、此原案ヲ果シテ通過スルト云フ場合ニハ、油ヲ輸入スルヨリモ寧ろ種子、實其儘輸入シテ僅ニ十錢ノモノデ以テ油ヲ日本デ製造スルガ、餘程油ガ廉ク付クデス、此ノ如キコトハ甚ダ不都合ナル私ハ案ト思フガ、他ニ之レニ對スル御説明ヲ聽イタナラバ、又相當ナル理由ノアルカハ知ラヌケレドモ、私ノ考ハ甚ダ不都合ナル案ト思ヒマス、就デハ此棉實ト云フモノ、タメニ——日本ノ穀物ノ中米、ソレニ亞グモノハ麥デア、麥ニ亞グモノハ即チ此某種デア、此某種ハ年々統計ニ依ッテモ御承知デアリマセウカ、決シテハ進シテ居ラヌデス、衰退シテ居ル、最モ產額ノ多イノ北海道デアリマス、ソレニ亞グノ九州デア、此某種ノ需用ト云フモノハ、以前デハ御承知ノ如ク點火用トシテモ某種ヨリ外無カッタガ、今日ハ一方ハ石油ト云フタメニ打撃ヲ受ケ、又此棉實ト云フモノガ今日デハ全ク棉實デ日本ニ入ッテ來、及ビ油ヲ輸入シテ來シテ、此某種ノ需用即チ某種油ノ需用ヲ大ニ阻害シテ居ル、此ノ如キ品物ヲ斯ナ低率ナル税金デ以テ輸入スルコトハ、甚ダ當ヲ得ヌト思ヒマスカラ、ドウカ詳シク御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今太田君ノ棉實、某種油ノ御尋デアリマスガ、棉實ハ先刻モ御答致シマシタガ、棉實カラ油ヲ取リマス、併シ搾ッテデスナ、肥料モ製造スル、肥料ハ無稅ニスルガ宜シイト云フ趣意デアリマス、ツマリ油ノ分ヲ幾分見テ、油ノ稅ニ當ル部分ヲ引去ッテ、其差額ヲ税金トシタ、斯ウ云フ趣意デア、ノデアリマス、デ某種、是ハ同ジク御説ト通りニ油ヲ取ル、某種ハ油ヲ取ルノガ主デアラウト思ヒマス、同時ニ油ヲ搾ルトキニ糟ガ出來マス、ソレガ最モ大切ナル肥料デア、コトハ申スマデモナイコトデアリマス、某種ノ方ハ御承知ノ通り内地ノ產額ガナカ／＼アリマス、棉實ニナリマスト云フト、内地ノ產額ト云フモノハ至ッテ乏シイ、サウシテソレハ肥料ヲ製造ノ原料ニナルモノデア、同ジク云フ趣意カラ稅ヲ取ル、大豆モ亦棉實ト似タモノデアリマシテ、之ヲ搾ッテ油ヲ取り、同時ニ油糟、大豆糟ヲ製造スル、此大豆糟ハ肥料トナルト云フ趣意ヲ以テデス、是ハナカ／＼其内地產ノ大豆ダケデハ足ラナイノデ、ヤハリ外國カラ輸入レナラヌ故ニ、サウ云フモノデア、大豆ノ輸入稅ハ若干戻ス、即チ百斤ニ付テ三十錢返ス、斯ウ云フ趣意ヲ取ッテデアリマシテ、某種ニ付テ戻稅ヲシナイト云フノハ、某種ハ内地ノ產額ヲ相當用ヲ爲ス、斯ウ云フ考デア、戻稅ノ途ヲ開ケナカッタデアリマス、ソレカラ油ノ稅率ノ權衡ノ御話モゴザイマシタガ、大豆油モ棉種油モ百斤ノ稅率ヲ算出シマシタノハ、ドチラモ其ニ割ヲ基礎ニシマシタ、ソレカラ算出シマスト、大豆油ハ百斤一圓四十錢、棉種油ハ四圓四十五錢、斯ウ云フモノガ出マス、適用シマスル率ノ標準ハ何レモ二割、斯ウ云フ見當ニシテ居ルノデアリマス、ソレデ棉種ノ油ガ某種ノ油ヲ侵スト云フコトモ、是モ私共ハ或程度マデハツマリ代用スルモノデアリマスカラ、棉種油ハ某種油ニ關係ヲ有ッ

ト云フコトハ御考ト同ジデアリマス、斯ウ云フ譯デアリマス故ニ、此棉種ヲ全ク無稅ト致サズシテ、ヤハリ是カラ生ズル油ハ相當ニ稅ヲ取ラニヤナラナイ、サウシテ茶種油トノ鈎合ヲ取ルト云フ考デ立案シテアル積リテ、雙方ノ關係ハ是デ相當デアラウト考ヘテ居リマス

○早速整爾君 私モ續イテ此大豆ノコトデ御尋シタイノデアリマスガ、唯今政府委員カラ御述ニナリマシタ如ク、内地ノ生産ノミデハ總ベテノ需用ヲ滿タスニ足ラナイト云フコトハ統計デ明カデアリマス、其點ニ於キマシテ私ハ農商務省ノ御方ニ先ヅ御尋シタイノハ、大豆ノ内地ノ此產額ト云フモノハ、段々少シツ、減ツテ來居ル傾向ガアルヤウニ思ツテ居リマスガ、此大豆ノ生産ガ減ツテ行キ居ルト云フノハドウ云フ譯デアルカ、農商務省ノ御見込デハ、將來此大豆ノ内地ノ生産ト云フコトニ付テハドウ云フ見込ヲ立ツテ居ラルルカト云フコトヲ簡單ニ承リタイ、ソレカラ左様ナ次第デゴザイマスルカラ、產額ハ少シ減ル傾向デアル、ソレカラ消費ニ應ズルコトガ出來ナイデ、無論此大豆ヲ澤山ニ輸入ヲシナケレバナラヌト云フ狀況ニナツテ居リマス、而シテ此大豆ノ用途ト云フモノハヤハリ食料ニ供スルト云フモノガ寧ロ少ナクツテ、肥料其他ノ製造原料ナドニ充テルモノガ餘程多イヤウニ思ツテ居リマス、私ハ此大豆ト云フモノハ何故今少シ此稅ヲ輕クシナイカト云フ疑ヲ懷イテ居ル、ソレデ御尋シタイノハ此一割五分ト云フ稅率ガ極メテゴザイマセドモ、今少シ此大豆ノ稅ト云フモノハ安クスル方ガ相當デハナイカト云フコトニ付テ、御意見ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス、ソレカラ總シテ此第二類ニ掲ゲラレテ居リマスモノハ、食料品デアルトカ、或ハ半バハ此原料トナル品物ガ皆含マレテ居ルノデアリマス、凡テ此現行ノ一割五分ト云フモノヲ踏襲シテ、ドレモ是モ現行ノ儘一割五分ト云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、概シテ私ハ斯ノ如キ品類ニ對シマシテハ、モウ少シ思切ツテ稅ヲ安クスル必要ガアリハシナイカト思フノデアリマス、此一割五分ト云フ稅率ノ立テ方ハ唯現行ニアルモノヲ其儘襲ウテ、ソレデ斯様ニナツト云フニ止マルノデアアルガ、今少シ安クスル方ガ適當デハナイカト云フコトニ付テ御見込ヲ伺ヒタイノデアリマス、即チ食料品トカ、若クハ原料品トカ云フモノニ對スル課稅方針ノ大體ヲ、是デ聽クコトガ出來ラデアラウト思ヒマス、最後ニ私ハ千田君ノ御意見ニハ逆フカモ知レマセヌガ、前日御尋ヲシテ答ヲ得ナカッタデアアル、此輸入米ニ對シテ總テ稅ヲ全廢スルコトハ出來マセヌカト云フコトヲ御尋ネシタイ

○政府委員(下岡忠治君) 唯今ノ大豆ノコトニ付テ御答致シマス、大豆ハ大シテ殖エテモ居リマセヌケドモ、非常ニ減ツテ居ルト云フ譯デアリマセヌ、大體ヲ申スト少シツ、殖エテ居ル、二十年頃マデノ五箇年平均ニ依ツテ見ルト、收穫高ガ約三百萬石、ソレカラ其後現在ハドレ位デアアルカト云フ、先ヅ二百五十萬石ト云フコトニナツテ居ル、日本デ拵ヘルトコロノ大豆ガ約三百五十萬石デ、海外カラ輸入シテ居ルノハ大體申スト百万石ト云フ狀態デゴザイマス、御話ノ通りニ大豆ノ用途ハ肥料ノ關係モゴザイマスガ、肥料ト云フノハ寧ロ豆粕デ這入ッテ來ルノガ多イ、大豆ヲ搾ッテ油ヲ取ッテ肥料ニシマスノハ少額デアリマス、大體ハ肥料トシテ來ルノハ豆粕トシテ來ルノガ多イ、大豆トシテ這入ッテ來ルモノハ御承知ノ通り豆腐、味噌、醬油ノ原料、其他菓子ト云フ風ニ各種ノ用途ガ多イガ、日本デ現在需要シテ居ルノハ四百五十萬石ト云フ狀態デアリマス、ソレデハ日本ノ大豆作ト云フモノハ、ドウ云フ工合ニナルカト云フコトヲ御話シタイデスガ、無

論是ハ需要供給ノ關係ニ依ツテ相當ニ算盤ガ取レ、バ殖エルシ、取レナケレバ縮マルト云フコトハ勿論デアリマス、農作カラ云ヘバ大豆作ハ農作ニハドウシテモ無クテナラヌ作デアアル、殊ニ東北方面カラ北海道ニ掛ケテハ大豆作ガ無イコトニナルト、非常ニ打撃ヲ受クベキモノデアアル、ト云フノハア、云フ土地ハ一方デ麥ナラ麥ヲ作り、一方ニ同年ニ豆ヲ作ル、大豆ハ御承知ノ通り肥料ノ要ラナイ極ク簡易ニ出來ル穀物デアアルノミナラズ、或程度マデハ自分デ自分ノ肥料ノ一部ヲ土地ニ殘ス作用ヲ有シテ居ル、從ツテ畑ノ多イ處デハ農作上缺クベカラザル一ノ作物デアリマス、ソレモ非常ニ價格ガ廉クテ引合ハヌコトニナレバ據ロナイガ、大體ニ於テ農業ノ經營ノ上カラ大豆作ヲ縮メルト云フコトニナルト、土地ノ利用ノ上カラ非常ニ損ニナル、殊ニ北海道ノ如キハ或程度マデハ大豆作ヲ土臺ニヤツテ居ル地方ガ多イ、十勝トカ釧路杯ハ大豆作ガ出來ヌト云フコトニナルト、北海道開拓ニ非常ニ影響ヲ與ヘル、溫暖地方ニナルト左様ナコトハナイト思ヒマスガ、其地方ニ於テモ或程度マデハ大豆作ヲヤツテ往キタイモノデアアル、現在他カラ這入ルノハ滿洲大豆及朝鮮カラ這入ル大豆ト兩方カラ半分ヅ、程這入ッテ居ル、無論コチヲトハ經營モ仕ヨイデアリマセウガ、免ニ角日本ニ於テモ大豆作ハ農業ノ經營上ヤツテイカヌナラヌスレバ、或程度ノ保護、一割五分ト云フ現行ノ保護ハ止ムヲ得ナイ關稅率ト考ヘテ居リマス、尙後トノ點ハ別ノ委員カラ申シマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今早速君カラ米ヲ無稅トスルノハドウカト云フ御尋デアリマス、是ハ前回ニモ米ノ稅率ガ現狀ヲ維持シタト云フ理由ノ大體ヲ説明ガシテアルノデアリマス、米ノ輸入稅ガ課セラル、コトニナリマシタノハ、御承知ノ通り戰時非常特別稅ヲ起シマストキニ初マツタデアリマシテ、其時マデハ米ハ稅ガ無カッタデアリマス、是ハ御承知ノ通りデゴザイマス、非常特別稅ヲ起ス際ニ、米ニ輸入稅ヲ課シタノハ、無論米ノ輸入稅ニ依ツテ關稅ノ收入ヲ得ルト云フコトガ大ナル理由デアルト云フコトハ申スマデモナイ、平均二百五十萬、年ニ依ツテ多少ハアリマスガ、其位ノ米ガ這入ルノデアリマスカラ、數百萬圓之ニ依ツテ關稅ノ收入ガ得ラレルノデアリマス、其收入ヲ得ルニ必要ナルヨリ課稅ガ起ツタデアリマス、同時ニ一方ニハ地租ノ關係モアツテ、戰時ニ於テハ地租モ同時ニ増徴ニナツタデアリマス、是ハ申スマデモナイノデアリマス、ソレ等ノ關係ヨリ此末ノ輸入稅ガ今日ニ續イテ居ルノデアリマス、一割五分ノ關稅ヲ輸入米ニ課シタメニ、米ノ値段ノ影響ハ先キニモ私ハ説明ヲ致シマシタガ、必ズシモ一割五分米ノ價ガ上ツタトハ申サヌケドモ、若干之ニ依ツテ米ノ價格ガ維持セラレテ居ルコトハ實際デアラウト思フ、サウ云フ關係ガアル輸入稅デアリマスカラ、收入ノ點カラ申シマシテモ、又米ノ價格ト云フ點カラ見テモ、今日米ノ輸入稅ナルモノヲ全廢スルト云フコトハ、他ノ今日マデ戰時ニ起ツタ稅ガソレノ關稅ノ上デモ加ハツテ居ルシ、關稅以外ノ內國稅ノ側デモ、ソレ等ノ稅ガ今日ニ殘ツテ居ルノデアリマスカラ、其關係ハヤハリ現狀ノ通りニ存シテ置ク方ガ適當デアラウト云フコトデ、此改正案ハ現行ノ百斤八十四錢ヲ課スルガ相當デアラウト云フ考デアリマス

○早速整爾君 大豆ノコトデ更ニ御尋シマスガ、近頃大豆ヲ其儘肥料ニ使フト云フコトガ行ハレテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、大豆ヲ輸入シテ豆粕ヲ製造スルト云フコトデナクテ、大豆ノ儘肥料ニシテ頗ル農產物ニ適スルト云フコトヲ承ツテ居ル、ソレガドウ云フ風

ニナッテ居リマスガ、例へば大豆ノ儘デ肥料ニ使フト云フノガ非常ニ増加シテ居ルガ、農商務省ノ方デハ大豆ノ用途ニ付テ肥料ニ使フ——豆粕ヲ製造シテ肥料ニ使フノガドノ位ノ需要ガアルカ、其他ノ製造原料ガドノ位アルカ、大豆ノ儘デ肥料ニ使フノガ凡ソドノ位アルカラウカト云フコトガ分リマスレバ、後デモ宜シウゴザイマス、確メテ置キタイ

○政府委員(下岡忠治君) 成程唯今ノ御話ノヤウニ、綠肥ト申シマシテ豆ヲ栽エテ、サウシテソレヲ或程度迄生長サセマシテ、ソレヲ耕入レルト云フコトハ極ク肥料トシテハ適當ナモノデアリマス、是ハ大ニ獎勵ヲシテ居ルノデス、ケレドモマダ此類ト云フモノハ極ク僅ナモノデアリマス、大シタコトハゴザイマセヌガ、各種ノ原料ニ使フモノニ付テハ、豆類ニ關スル調査ト云フモノヲ差上ゲテ置キマシタガ、大抵ハソレニ載セテ置キマシタ

○早速整爾君 大豆ノ儘使フノハ……

○政府委員(下岡忠治君) ソレハ極ク僅デアリマスカラ、後デ表ヲ差上ゲマス

○藤井善助君 此ハ大豆ノ使用其他ニ付テモ質問ヲ致シタイコトガアリマスガ、ソレハ姑ク別個ノ問題ト致シマシテ、此第十二號ノ米及粳ノ課稅率ニ付キマシテ、關稅政策ノ矛盾、關稅方針ノ矛盾ト云フコトヲ發見シマシタノデ、政府ノ之ニ對スル方針ヲ伺ヒタイノデアリマス、申ス迄モナク米ニハ玄米ト白米トアル、即チ未製品、既製品ト分類サルベキ玄米、白米ノ二種ガアルニ拘ラズ、米及粳ト云フ品目ニ對シマシテ玄米白米ノ等差ヲ置カズニ、同ジク百斤ニ付テ六十四錢ト云フ稅ヲ課シテ居ルト云フコトハ、前ノ議會ニ於テモ白米、玄米ノ課稅率ニ等差ヲ置クト云フコトノ議モ、大多數ヲ以テ通過シテ居ルノデアリマス、要スルニ各國何レノ關稅率ヲ見マシテモ、未製品ヲ輸入シテ、サウシテ加工ヲシテ製品ニ致スト云フ其間ニ相當ナル等差ヲ置イテ、未製品ヲ加工スルト云フ餘地ノ存シテナイ課稅法ハナイノデアリマス、ソレハ申ス迄モナク米國ノ如キ、若クハ濠洲ノ如キ、非律賓ノ如キ、近クハ浦鹽ノ自由港ノ閉鎖致シタニ付テ、米ニ關稅率ヲ制定致シマシタガ、是等ニ付キマシテモ皆ソレヲヤッテ居ル、絕對ニ保護政策ヲ取レル或邦ニ於キマシテハ、絕對ニ白米ノ輸入ヲ禁止シ若クハ玄米ノ輸入ハ無稅ニシテ置イテ、白米ニノミ課稅シテ居ルト云フ迄ニ等差ヲ置イテアルニ拘ラズ、而モ前議會ニ於テ大多數ヲ以テ通過致シ、確ニ玄米白米ノ間ニ相當ノ等差ヲ置キ、サウシテ玄米ノ輸入ヲ誘致シテ、是ヨリ生ズルトコロノ多大ナル工賃若クハ粉米、糠、是等ノ副產物ノ多大ナル利益ヲ我邦ニ取ル、斯ウ云フ賭博イ事理明白ナルコトニナッテ居リマシテ、玄米白米ノ區別ガ出來ヌト云フコトハ萬々ナイノデアリマスレバ、而モ玄米白米ノ間ニ何等ノ等差ヲ設ケズシテ、是ガタメニ國家ノ受ケル不利益ハ數百萬圓ニ上ルノデアリマス、ソレハ白米ヲ輸入スルコトニ付テ、工賃及ビ是ヨリ生ズル粉米、糠等ノ副產物ヲ加算致シマスレバ、一箇年ニ四百萬圓ニ上ルノデアリマス、斯ノ如ク不利益ナル現行關稅率ヲ改正サレズニ、尙且ツ未製品ト既製品ノ間ニ等差ヲ設ケラレヌノハ如何ナル考デゴザイマスガ、此點ニ付テノ御説明ヲ承リタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今藤井君ノ米ノ輸入稅ヲ相當ニ區分セヌノハドカト云フ御問デゴザイマスガ、是ハ前ノ議會ニ於キマシテモ其御説ハ伺ヒタコトモアリマスガ、加工ノ程度ニ比例シテ稅率ヲ適當ニ按排スルト云フ方面カラ見マス、御説ノ如ク白米ハ玄米ニ比シテ相當ノ加工ガシテアリマスカラ、其間ニ稅率ノ區分ヲ置イテ、白米ニ

高ク、玄米ニ底クト云フコトハ一理アルヤウニ思ヒマス、所ガ實際關稅ヲ徵收スル上ニ於キマシテ、又百斤六十四錢ト云フ稅ヲ割出シマス其本ハドウ云フ所カラ出テ居ルカト云フコトヲ申上ゲルト、ツマリ現在入ッテ來マスモノハ大部分ハ白米ニナッテ居ルノデアリマス、三十七年ニ玄米ト白米トノ比例ハドンナ風アルカト云フト、玄米ガ百分中十三、白米ガ百分中八十七、三十八年ニハ玄米ガ百分中十六、白米ガ九十四、三十九年ニハ玄米ガ百分中九、白米ガ九十一、斯ウ云フ風ニナッテ居リマシテ、實際今迄入ッテ居リマスモノハ八九分ハ白米デアアルノデアリマス、ソレヲ標準ニ致シタモノデアリマシテ、百斤六十四錢ト云フモノハ主トシテ白米ノ標準カラ出テ居ルト申シテモ宜シイ、且今日迄ハ玄白ノ間ニ區分ヲセズニ課稅ヲ致シテ居リマスカラ、課稅ノ手續誠ニ簡單ニ行クノデアリマス、若シ之ヲ白米ト玄米ト間ニ差別ヲ付ケマシテ、玄米ヲ安く、白米ヲ高く致シマスコトニナルト、外國カラ昨今輸入シマスモノコロノ米ナルモノハ、白米ト申シテモ粳モ入ッタリ、玄米モ入ッタリ、ソレハ中ニハ極ク精白シタル良イモノハ精白米タルコトハ明カデアリマスケレドモ、大部分ノ輸入米ニ付テ見マスルト、隨分區分ニ困難ナルモノガアル、其見本ハ前年ノ議會ニ於テ此處ニ提出致シテ諸君ニ御覽ニ入レタコトモアリマスガ、玄米デアアルカ、白米デアアルカ、若シ玄米タルト白米タルトニ依ッテ、稅ニ差ガアルト云フコトニナリマス、輸入者ハ必ズ之ヲ白米トシナイ、又課稅スル方デモ白米モ入ッテ居ルカラ玄米トシテハ入レラレス、其結果ハ玄米ト白米ト拾ヒ分ケテ、按分比例デ課稅スルト云フコトニナルカモ知レマセヌ、隨分煩雜ナル課稅上ノ手續ヲ惹起スト云フコトガアリマス、是ハ唯課稅上ノ煩雜ノコトヲ申スノデアリマス、モウ一ツ御問ノ中ニ、玄米ヲ輸入シテ之ヲ日本デ精白ニスルナラバ、日本デ工賃其外糠、粉米ト云フ副產物ヲ利得スルト云フ御説モアリマスガ、之ニ付テハ段々研究シタ末、イロ／＼ニ計算モシテ見タノデス、何レガ利得デアアルカ、白米ヲ輸入スルガ宜イカ、即チ國家經濟ノ全體カラ考ヘマシテ、玄米ヲ輸入シテ工賃其他ノ副產物ヲ取ルガ利益デアアルカト云フコトモ計算致シタコトモアリマスガ、吾々ノ見ルトコロデハ玄米ヲ輸入スルコトガ左様ナ莫大ナル利益ヲ來スモノデアナイト云フ計算ヲ見タコトガアルノデアリマス、ソレデ又内地ノ精米業ヲ大ニ保護スルト云フ御論モ出タコトモアリマス、併シ此精米業ト云フコトハ、今日ハ各地ノ小規模ノ處ニ於テ全國ノ水車其他ニ依ッテ小規模ニ澤山行ハレテ居ルノデアッデ、精米業ト云ッテ大ナル組織ヲ以テ今日行ハレテ居ル處ハ、全ク無イコトデアリマセヌ、アチコチニアリマスガ、而シテ外國カラ仕入レ致シタモノ、又内地ノ米ヲ精白スルト云フコトハ小サナル水車等ニ於テ行ハレテ居ルノデアリマシテ、ソレ等ヲ一々保護スルト云フコトハ、一方ニ玄米ヲ輸入スルノ運賃其他損失ニ歸スベキ勘定ヲ比ベテ見ルト、一概ニ此精白、精米業ヲ保護スルト云フコトガ國家全體ノ利益デアアルカドウカ、是モ大ニ疑ガアルカト思フ、ソレデ米粳ト云フモノハ、一律ニ致シテ百斤同一ノ課稅ヲ致シテ居ルト云フノハ、唯今申上ゲルヤウナ趣意デヤッテ居ルノデアリマシテ、將來モ此方法デヤッテ行キマスル方ガ相當デアラウト、斯ウ政府ハ考ヘテ居リマス

○藤井善助君 唯今ノ御答辯デアリマシタガ、要スルニ米及ビ粳ト云フ費目ノ區分ニナッテ居ルケレドモ、其實ハ白米デアアル、白米ハ百分ノ五デアアルトカ、百分ノ六デアアルトカ、或ハ玄米ハ百分ノ五デアアルトカ、六デアアルトカ、現狀ニ於テハ米及ビ粳ト云フモノハ、殆

ド實質ニ於テ白米ノ輸入デアルト云フ御説ノヤウデアリマスガ、是ハ要スルニ原因ヲ究メ
ラレヌカラサウ云フコトヲ言ハレノデ、米モ初モ無稅デアッタ時代ニハ、外國デハ御承知ノ
通り一日ニ數百萬石モ精白スルコトノ出來ル大規模ノ工場ガアツテ其燃料ニハ初精ト
云フヤウナモノヲ使ツテ、一日ニ一萬石以上モ精米シ得ラレト云フ大規模ノモノデア
テ工賃ノ如キモ大ニ我邦ノ精米工場ヨリ安イ、其結果ト致マシテ、玄米及白米ノ等差
ナク、總テ無稅デアッタ時代ニシテモ、所謂工賃ノ高低ガアツテ、ソレ等ノ結果ト致シマシ
テ白米ガ入ッテ居タノデアリマス、玄米ヨリ價ノ高イ白米ガ多ク入ッテ居タノデアリマス、
現行率、即チ玄米白米ノ等差ナシニ百斤ニ付テ六十四錢ト云フ課稅ヲサレル今日ニア
リマシテハ、ソレ以上白米ノ輸入ヲ誘致シテ、殆ド玄米ノ輸入ト云フコトヲ杜塞スル
云フヤウナ現狀ニナッテ居ル、之ヲ要スルニ關稅ニ於テ同一ナル課稅ヲサレタ結果、益
白米ノ輸入ヲ誘致シタト云フ結果ニナルノデ、現在ニ於テ殆ド玄米ノ輸入ハナシ、白米
ノ輸入ノミデアルカラ、別段等差ヲ置ク必要ハナシト云フ原因ヲ確メラレヌカラサウ云フ
考ガ出ルノデ、尙課稅ノ手續ガ玄米ト白米トノ區分ガ、課稅ノ手續ノ上ニ於テ非常ニ
面倒デアルト云フヤウナ御意見デアリマスガ、玄米ト白米トノ區分ハ左程ムツカシイモノ
ハナシ、營業者ニアラズト雖モ少シク注意ヲ拂ヒマシタナラバ左程ムツカシイモノハナシ、
若シムツカシイモノト致シマシタトコロデ、是ハ玄米デ是ダケノ程度ノモノデアル、是ハ白米
デアルト云フ標準米ノ見本ヲ置キマシテモ、至極分リ易イ譯デアリマシテ、而モ現政府ノ
徵稅上ノ手心、政府ノ徵稅ノ手心ニ於キマシテ疑ハシイモノガアリマシタラバ、課稅ノ重
イモノニ其手心ヲ取ッテ行カレト云フコトデアレバ、決シテソレガタメニ手續ハ面倒デナカ
ラウト思フ、要スルニ國家ガ玄米ヲ輸入スルコトハ利益デ、白米、即チ加工シタトコロノ
白米ヲ輸入スルヨリハ、無稅ノ玄米ヲ輸入スル方ガ利益デアルト云フコトハ論ヲ俟タヌコ
トデアリマスカラ、其玄米輸入ヲ誘致スル方法トシマシテハ、徵稅上ノ手心ヲ取ッ
レノモノ一策デアラウト思フ、課稅上ノ手續ガ繁瑣デ面倒デアルカラト云フコトハ、ソレガ
タメニ生ズルトコロノ國家ノ不利益ヲ來シテモ構ハヌト云フヤウナ議論ニナラウト思ヒマ
ス、ソレカラ韓國カラ入ッテ來マスル米ハ殆ド玄米ノミデアルノデアリマス、又蘭貢、柴
棍アタリカラ入ッテ來ル白米ナルモノハ、要スルニ俗ニ謂フ「ツブシ」ト云フモノデ、日本
地ノ米ノ代用ニ食料ニスルノデハナクシテ、「ツブシ」屋ト稱フルトコロノ間食物ニ多クソレ
ハ使ッテ居ルノデ、韓國米ノ輸入ニ對シテ韓國ノ米ヲ輸入スルニ付テ、此白米ト玄
米トノ間ニ相當ノ等差ヲ置イテ、サウシテ白米ノ輸入ヲ杜塞スル、玄米ノ輸入ヲ誘
致スルト云フコトハ韓國輸入米ト云フモノニ何等ノ影響ヲ來サヌノデアリマス、斯ノ如
ク見マスレバ、貿易上ノ關係、狀況ノ上カラ見マシテ、貿易關係ハ白米ノ代リニ玄米ヲ輸
入スルト云フコトデアリマスカラ、何等惡イ影響ハナシ、偶價ノ高イ白米ニ拂フトコロノ
金ヨリハ少ナシトコロノ玄米ノ價ヲ拂フト云フコトデアツテ、要スルニ正貨ノ流出ヲ少クスル
ト云フ好イ結果ガ生ズルノデアリマス、又工業ノ上カラ見マシタトコロデ、精米工業ヲ保護
スルト云フ唯今ノ御答辯ニ依リマス、精米者ハ極ク狭イ工業主ナリ、農家ノ副業デア
テ、精米工業トシテ見ルベキモノハ餘リナシ、農家ノ副業トシテ米ヲ精白スルト云フ一ツノ
農家ノ餘裕ノアル時間ト、其勞働ヲ利用スルトコロノ仕事ガ一ツ出來ルノデアリマスカラ、
此點カラ見マシテモ無論利益デアツテ、尙農家ノ方ノ計算カラ行キマシテ、ドウ云フコトニ

ナルカト申シマスレバ、玄米ヲ輸入スルノデアリマスカラ、農家ノ常トシテ白米ヲ買ッテ食
フト云フヨリモ、寧ロ安イ玄米ヲ買入レテ、自分ノ手許デ作ル、價ノ高イ品質ノ良イ日
本ノ米ヲ賣拂ッテ、廉イ外國玄米ヲ求メテ之ヲ精白シテ食料ニ充ツルト云フコトニナル、
要スルニ價ノ高イモノヲ賣ッテ價ノ低イモノヲ買フテ、サウシテ自分ノ食料ニスル、ソレデ彼
我交換スルトコロノ差違ト云フモノハ農民ノ懷ニナル、斯ノ如ク見マスレバ、商業カラ見マ
シテモ、工業ノ方面カラ見マシテモ、若クハ農業ノ方面カラ見マシテモ、總テニ於テノ關係
ガ少シモ惡影響ハナシノデス、要スルニ玄米ヲ輸入スルコトガ國家ノ利益デ、白米ヲ輸入
スルコトガ國家ノ不利益デアルト云フヤウナコトハ略易イコトデ、御尋スルマデモアリマセ
ガ、唯今ノ御答辯ニ依リマス、要スルニ課稅ノ手續上ノ煩瑣ニ對シテ或ハ精米工業ト
シテノ工場ヲ保護スル程ノ規模ガナシト云フヤウナ見地カラ致シテ、ソレ等ノ點ニハ國家
ノ不利益ヲ來シテ居ルトコロノ結果ニハ、左程重キヲ措カナイ、注意ヲ拂フ必要ガナシト
云フ御見解デゴザイマスガ、尙一ツ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 重子テ御答致シマス、白米ガ殖エテ玄米ノ少ナシノハ、一
律ノ稅率ヲ課シテアル其結果デアルト云フヤウニ御覽デアリマスガ、米ノ輸入稅ハ御承
知ノ通り三十八年七月ヨリ課稅ニナッタノデアリマス、此處ニ自分ノ手ニ在リマスノハ三
十七年ノ——即チ輸入稅ノマダナイ時ニドシナ割合ニ入ッテ來タカト云フ調ガアリマス、
ソレハ先刻申上ゲマシタ玄米ガ十三、白米ガ八十七ト云フ割合デアルノデス、ソレデ二十
六年、五年、ズット以前ノ割合ハ此處ニ持ッテ居リマセヌカラ、其割合ガ如何ニアルカト
云フコトハ此處ニ御答ハ出來マセヌガ、兎ニ角課稅以前ノ三十七年ヲ見マシテモ八十
七ト十三ト云フ割合ニナッテ居リマス、デ私ノ考ヘルトコロデハ、其以前モ大體此位デ
アッタラウト思フ、サウ大ナル變更ハ急ニ無カッタラウト思ヒマス、サウシテ見ルト、一概ニ
一律ニ課稅シタ結果白米ガ殖エタモノト、斯ウ斷言モ出來ナイヤウニ思ヒマス、ソレカラ
玄米白米ノ區分ヲセズニ一律ニ課稅スルノハ、單ニ課稅上ノ便宜ヲタメニヤルノデアルカ
ト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ一律ニスル一ツノ理由デアリマシテ、ソレノミヲ以テ申シ
譯デハナカッタノデアリマス、藤井君ノ御説ノ中玄米ヲ入レテ之ヲ搗キ糠ヲ取り、粉米ヲ
利益シ工賃ヲ利益スルト云フ計算モ、實際御説ノ通りデアリマス、ソレデケ利益ハ舉リ
マスケレドモ一方ニ於テハ之ヲ廣ク國家全體ノ利害カラ申シマス、白米ヲ輸入スル代リ
ニ假ニ玄米ヲ持ッテ來ルト云フコトニナリマス、ソレデケ多クノ運賃ヲ國ハ損失スルト云フ
コトモ考ヘナケレバナラヌト思フ、是ガ必ズ計算ノ中ニ入ラヌケレバナラヌモノト思フ、ソ
レ等ヲ差引シテ見マス、唯今藤井君ノ御説ニナルヤウナ玄米ヲ入レテ、サウシテ之ヲ精白
スルト云フコトニスレバ、一年ニ數百萬ノ國ノ利益デアルト云フ御説デアリマスガ、私共ハ
ドウモサウ考ヘヌノデアリマス

○委員長(野田卯太郎君) ソレハ分ッテ居ルナラ其書面ヲ出シテ下サイ
○政府委員(櫻井鐵太郎君) ソレハ今此處ニ口デ述ベルノハ煩シウゴザイマスカラ、ソ
レハ御參考ニ差上ゲマス
○委員長(野田卯太郎君) 分ルナラ口デ述ベテハ如何デス、
○藤井善助君 唯今ノ御答辯ニ依リマス、關稅ヲ米及初ニ課ケテ居ラナシ以前
ニ於テモ百分ノ十三、若クハ八十七ト云フ玄米白米ノ比例デアルカラシテ、關稅ヲ課シ

タガタメニ、ソレ以來白米ノ輸入ヲ著シク誘致シテ、玄米ノ輸入ヲ杜塞シタデハナイト云
フヤウナ御見解ノ御説デアリマシタケレドモ、先刻私が申上ゲマス如ク、無税ノ時代ニス
ラ、要スルニ日本ノ精米工業ノ幼稚ナルガタメニ、彼ノ大規模ナル工場ニ在テ精白ナリ
加工ヲ致スガタメニ我邦ノ精米工業ノ幼稚ナルガタメ、工賃ガ比較シテ非常ニ高ク付
ク、其結果ト致シテ向フハ白米ヲ多ク持ッテ來ルノデアリマス、即チ玄米ヲ輸出スルヨリ
モ白米ヲ輸出スレバ、即チ其國ハソレダケノ工賃副産物ヲ多クスルノデアッテ、又價ノ高
イ物ヲ輸出スルノデアリマスカラ、無税ノ時代ニ於テスラ尙且ソレデアリマスカラ、同一ノ
課税ヲスレバ一層其勢ヲ増長スルト云フ結果ニナルコトハ分ッテ居ル話デアリマシテ、其
點ニ對スル政府委員ノ御答辯ハ、全ク其原因ヲ究メテ居ラレタ意見デアラウト思ヒマス、
尙白米ノ輸入ヲ杜塞シテ玄米ノ輸入ヲ誘致スルコトヲ努ムルノハ、要スルニ運賃ニ於テ
失フデヤナカト云フ御説ガアリマスケレドモ、是ハ要スルニ輸出スル方ノ先方ノ計算ニ
屬スルコトデ、輸入ヲシマスル我邦ノ方ノ計算ヲ致シマスレバ、則チ玄米ヲ輸入シテソレヲ
加工スル、即チ精白スルトコロノ工賃副産物ハ、此方ニ收メルノデアリマスカラシテ、玄米
ヲ精白シマスルトコロノ所謂歩減ト云フモノニ依テ生ズル運賃ノ差ハ、漸ク百斤ニ付テ
十二錢五厘トカ十二錢八厘ト云フ程度ニ在ラウト思ヒマス、サウスレバ玄米ト白米トノ
歩減ノ差ニ對スル運賃ノ關係ト云フモノハ、全クソレハ計算ニナラヌ極ク略易イ譯ナ
ノデアリマスカラシテ、是モ白米ノ輸入ヲ杜塞シテ、玄米ノ輸入ヲ誘致スルト云フ國家ノ
利益ノ上カラ見レバ、極メテ微々タルモノデアラウト思ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今委員長ノ御注意ニ依テ茲ニ計算ノコトヲ少シ申
上ゲマス、玄米ヲ輸入シテ副産物ノ工賃ヲ利得スル方ガ、白米ヲ輸入スルヨリモ利益デ
アルト云フ藤井君ノ御論デアリマスガ、ソレニ對シテ茲ニ計算ヲ致シタモノガアリマスルデ、
少シク計數ガ長クナリマスガ、四十二年ノ三月ニ是ハ調ベタノデゴザイマス、明治三十
七年以降五箇年ノ間ニ輸入シマシタ白米ガ平均一箇年ニ六百萬九千四百八十一
「ピクル」之ヲ二割初メノ玄米ニ換算シマスト八百五十五萬五千二百七「ピクル」トナリ
マス、「一「ピクル」ハ御承知ノ通り百斤十六貫デアリマス、之ヲ本ニシテ計算ヲ致シマシ
タ、ソレデ藤井君ノ御説ノ如ク玄米ヲ入レマス方ノ利益ヲ勘定シテ見マス、七萬三千
五百七十六圓ト云フノガ是カ初摺摺賃ニ當ル勘定デアリマス、ソレカラ四十六萬九千
七百七十二圓、是ハ精白工賃ニ當ルト云フ勘定、此計算ノ細カイコトハ略シマス、ソ
レカラ百五十六萬四千四百九十圓、是ガ精白ノ際ニ出來ル碎米、ソレカラ七十三萬四千
百七十九圓是ガ糠ノ代、合計二百八十三萬五千三百十七圓斯ウ云フモノニナリマ
ス、ソレカラ一方ノ私ノ計算シマスル損失ト云フ方ノ側ヲ見マスルト、三百二十三萬五
千九百十四圓是ガ玄米ト白米ノ代ノ差、ソレカラ二十一萬九千五百八十六圓、是
ガ玄米ヲ運送スルノ白米ヲ運送スルノ運賃ノ差、玄米ノ方ガ分量ガ餘計ニナルカラ運
賃ガ餘計掛カルト云フ計算ヲシタノデアリマス、ソレカラ一萬六千八百八十圓、是ガ保險
料ノ差、ソレカラ三萬二千三百五十九圓是ガ手数料、其他ノ諸雜費、十二萬三千五
百十七圓ト云フノガ包裝費、合計シマスと三百六十二萬七千五百五十六圓、差引
イタ差金ガ七十九萬二千二百二十九圓、ツマリ利益ト損失ト代表シテ損失ノ計算
ニ立ツ方ガ七十九萬二千二百二十九圓多イ、斯ウ云フ計算カラ私が先刻玄米ヲ輸

入スルコトガ國家ノ計算ノ上デ必ズ利益ガ多イモノトハ言ヘヌ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ
其概略ノ計算デアリマス

○太田清藏君 私モ此大體ニ就テハ税金ノ率ガ低キニ失シテ居ルト云フ意見ヲ持テ
居リマスガ、先刻御尋シタコトニ付テ今少シ御尋シタイト思ヒマス、先刻櫻井君ノ御答
ハ此棉子ト云フモノハ、日本ニ輸入シテソレカラ油ヲ搾ッテ、粕ハ肥料ニスルカラ割合ニ
税金ヲ廉クシテアルト云フコトデアッタ、所ガソレト同ジヤウナ即チ某種モヤハリ是ハ輸入シ
テ之ヲ搾リ油ヲ取り、其粕ハヤハリ肥料トナル同ジ性質ノモノデ同ジ効用ヲナストコロノ某
種、棉子ニ對シテ其百斤ニ對スル油分ノ含有料ハドノ位カト云フト、百斤ニ對シテ二割
デアル、其二割ノ油分ヲ含シテ居ルモノト云フ御答デアッタ、ソレデ本員モ凡ソ御説ノ通り
ト思ヒマスガ、同ジ百斤ニ對シテ二割ノ油ヲ含シタ某種ト云フモノニ付テ、其粕ハ
同ジヤウニドチラデモ肥料トナルモノデアル、ソレニ對シテ一方ハ十錢デ一方ハ六十五錢、
斯ノ如キ税金ノ上ニ等差ヲ附ケラレタノハ甚ダ私共ハ當ヲ得ナイモノト思ヒマスガ、先刻
ノ御答デハマダ解スルコトガ出來マセヌノデ、ドウカ其點ニ付テ、斯ノ如ク等差ヲ附ケナケ
レバナラヌト云フ趣意ハ何レニアルカト云フコトノ御答ヲ願ヒタイ、ソレカラ大豆ノ方ハ、
是ハ先刻御答ノ如ク大部分ハ油ヲ取ルト云フコトデナクシテ、其他ノモノニ使用サレルノ
デ、或ハ醬油釀造、其他豆腐ニ搾ヘルトカ其他イロ／＼ノ方面ニ向ッテ大豆ノ入用ガア
ルノデ、是カラ油ヲ搾ルト云フコトハ實ニ微々タルモノノデ、到底日本ニ輸入シテ日本デ油ヲ
搾ルト云フコトハ出來ヌノデアル、引合ハヌノデアル所ガ此棉子ト云フモノハドウカト云フ
ト、御承知ノ如ク最モ清國ニ多イノデ、主モ日本ニ輸入サレ世界各國ニ供給シテ居
ル、サウシテ其產額ハ非常ニ多イノデ、又清國デハ全ク廢物デ之ヲ取テ棄テ、モ宜イ位
ノモノデアルノガ、之ヲ日本ニ持テ來レバ——油ヲ輸入スレバ百斤搾ヘテ四圓五十何錢
掛ル、實デ持テ來レバ僅カ十錢デアル、百斤ノ棉子カラ油ハドノ位取レルカト云フト二
十斤出來ル、二十斤ノ油ノ税金ハドノ位カト云フト一圓何ボト云フモノニ當ル、斯ノ如
ク油ヲ持テ來レバ——製品デ持テ來レバ非常ニ高イ税金ガ掛リ、未製品デ持テ來レバ
全ク無税ニナルト云フコトハ、益、此棉子ヲ多ク日本ニ輸入シ、ソレヲ以テ油ヲ製造シ
テ其油ガドウナルカト云フト、日本ノ某種ノ產額ヲ害スルト云フコトニナル、今日某
種ノ上ニ非常ナル惡影響ヲ來シテ居ル、近頃ノ統計ノ上ニ現ハレテ居リマスヤウニ、此
某種ノ油ハ海外ニ向ッテ輸出スルコトニナッテ居ル、ソレガ統計ノ上ニ示ス如ク、ドン／＼
油ノ輸出ガ減少シテ來ル、ソレハ海外ノ事情モアリマセウガ、此中棉子ノ油ト云フモノノ
某種ノ油ト混交スル憂ガ茲ニアルノデ、之ヲ混交スレバ需用者ハ相當ナル方法デ分析ス
レバ直グ分ルノデ、此某種ノ油ト云フモノト比較スルト棉子ノ油ハ非常ニ質ガ惡イノデ
アル、其實ノ惡イ棉子ノ油ヲ斯ノ如キ廉イ税金ヲ以テ輸入スレバ、益、某種油ヨリ廉イ
モノガ出來ル、又之ニ混シテ海外ニ輸出スルコトニナルカラ、海外ノ信用ハ全ク無クナッ
テシマフ、ソレ故ニ近頃支那カラ直接ニ海外ニ輸出スル方ガ多クナッテ、日本カラ輸出ス
ル高ガ減少シテ來ル、其結果ガ某種油ヲ害シテ居ルモノト思ヒマスカラ、今少シ詳細ニ
御答ヲ願ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御答致シマス、先デ油ノ方カラ申上ゲテ見ヤウト思ヒ
マス、棉子油百斤四圓四十五錢トアリマスガ、是ハ對照表ヲ御覽下サルト此從價ノ割

合が出居リマス、即チ二割大豆油モ二割大豆ノ油ニ較ベテ棉子ノ方が高イト言ハ
レマスガ、棉子油ト云フノハ精製シマシタ分ニナリマス、食料品ニナルナカ、値段ノ
高イモノデアリマス、ソレ故ニ同シニ割デアリマシテモ四圓四十五錢ト云フ高イ率が出マ
スノデ、ソコデ棉子ニ廉イ稅ヲ掛ケタノハ、先刻大體申シマシタ通り棉子ヲ輸入シテソ
レヲ搾ル——ソレハ油モ取りマス、其搾粕ハ肥料ニナル、其肥料ニ造ル原料ノ如キモノ
ハ成ベク日本ハ棉子ハ澤山出來ヌモノデスカラ、廉イ稅ヲ輸入スルノガ便利デアルト云
フコトデ、廉イ稅ニシテアルデアリマス、併ナガラ之ヲズツ廉イ稅ニシナカッタノハ何
デアルカト云フト、棉子ヲ入レテ内地デ搾レバ油モ取レ粕ノ肥料モ取レル、併シ之ヲ全ク
無稅ノ如クニスルト、棉子ノ油ガ廉イ稅ヲ入ルコトニナルト同様ニナルカラ、サウスルト某
種ノ油ノ上ニ影響ヲ與ヘル、某種ハ御承知ノ通り北海道其他デ可ナリ取レルノデスカ
ラ、其某種ノ油ニ影響ヲ與ヘル、ソレガ宜クナイカラ棉子ノ稅モ相當ニ掛ケテ置カナケレ
バナラヌ、又棉子カラ搾テ取ル油モ其稅ヲ見込シテ棉子ノ稅ヲ極メナケレバナラヌ、言
葉ヲ換ヘテ申セバ某種ヲ保護スル——保護ト云フテハ語弊ガアルカ知リマセヌガ、日本
ニ相當ニ出來テ居ル、耕作サレテ居ル某種ニ大ナル影響ヲ與ヘナイヤウニト云フ積リテ、
棉子ノ稅ヲ定メテデアリマス

○委員長(野田卯太郎君) マダ議論ハアリマスカ

○千田軍之助君 私ハモウ少シ質問シタイと思ヒマス、前ニ質問シタトキハ單リ此第
一類ノ稅率ヲ見ズニ、他ノ方モ見ルヤウニト云フ政府委員ノ注意デアリマシタガ、御注
意ハナクモ他ノ方面モ見テ居ル、其一例ハ砂糖ハ現行ノ協定稅率デ一割デアルニモ
拘ラズ、今度ノ改正デハ五割乃至六割ト云フヤウニ稅率ヲ高クシテ居ル、之ヲ高クシタ
ニ付テハ少シモ異議ハナイガ、等シク農產物デアルニモ拘ラズ、砂糖ハ斯ノ如ク突然ニ一
割ノ稅率ヲ五割乃至六割ニ上ゲテ居ルニ拘ラズ、第一類ノ米始メ即チ砂糖ニ比スレバ
二十倍乃至三十倍ノ生産額ヲ持ッテ居ル此農產物ノ稅率ヲ、依然一割五分カラ据
置イテアルノハ如何ニモ政府ノ考ガ偏シテ居ル、其理由如何、ソレカラ米始メ農產物十
何種ノ稅率一割半ハ如何ニモ低イ、是ハ少クモ一割上ゲテ二割半ニシタイト云フノハ、
決シテ農民ヲ偏愛スルヤウナ偏狹ナ考デハナイ、全ク今日ハ商工業ヲ發達セシメ海外貿
易ヲ發達セシメナケレバナラヌト云フ點ニ付テハ、目的ハ同ジデアリマスケレドモ、我邦ノ
經濟界ノ大勢ヲ見ルト、富ノ分量カラ申シテモ、商工業ハ先ヅ國家ノ富ノ十分ノ三ホ
カ持ッテ居ラヌ、十分ノ七八農民ガ持ッテ居ル、又午前ニモ申シタ通り國ノ負擔カラ云ッテ
モ確カニ農民ガ十分ノ三ヲ持ッテ居ル、又此商工業ヲ盛ニシテ海外貿易ヲ大ニ發達
セシムルニ付テハ、即チ商賣ヲ盛ニシナケレバナラヌ、商賣ヲ盛ニシルニハ製造工業
ヲ盛ニシナケレバナラヌ、製造工業ヲ盛ニシルニハ其原料ハ全ク農產物デアアル、我邦
ノ製造工業ノ額ヲ見ルニ、十億ニ垂ントシテ居ルガ、其八九マデハ農產物デアッテ唯原
料ヲ海外ニ仰イデ居ルモノハ紡績デケデアリマス、斯ノ如ク商工業ヲ盛ニシルニハ製造
工業ヲ盛ニシスル、ソレニハ全ク其原料ハ農產物デアアル、加之消費ノ點カラ申シテモ、
私ガ午前ニ申シタ通り、我邦ノ商品ハ二十六億以上ニ達シテ居ル、其内海外ニ出ル
物ハ僅ニ四億デ、二十何億ハ内地デ消費スルノデアアル、其消費スル七割ハ又農民ガ消
費スル、其農民ガ今日ノ現狀ニナッテ即チ國家ニ對スル租稅ノ上カラ云ッテモ、原料ヲ供

給スル上カラ云フテモ、亦消費ノ上カラ云フテモ、國家ノ七分、ドノ方面ニ於テモ七分
負擔シテ居ル、此農民ガ唯今ノヤウナ有様ノ内ハ即チ消費千分ノ四百五百甚ダシキハ
六百モ即チ半バ以上ヲ持ッテ居ル、本員ハ印度朝鮮ノヤウナ生活ノ低イ處カラシノ
安イ米ガ這入ッテ來ル、之ニ對シテ適度ノ保護政策ヲ執ラヌト云フコトハ、國ノ富ヲ發
達ヲ妨ゲルモノト思フ、吾々ハ國民ノ代表者トシテ決シテ農ヲ偏愛スル商工ヲ偏愛ス
ルト云フヤウナ偏狹ナ考デハ、國家經濟ヲ圓滿ニ發達セシムルコトハ出來マセヌ、私始メ
衆議院ノ大多數ハ國家經濟ノ大體ヲ圓滿ニ發達セシムルニハ、ドウシテモ今日ノ農家
ノ有様デハ發達セヌノミナラズ、確カニ政府ノ方針ハ富ヲ發達ヲ助長シナケレバナラヌノ
ヲ、却テ妨害シテ居ル、發達ヲ壓ヘテ居ルト云フコトヲ吾々ハ憂慮スル、吾々ハ今日教
育デアレ運輸交通デアレ、衛生ノ事、陸海軍ノ事、總テ一等國ニ發達セシメタイ、ソレ
ニハ今日一番富ガ我邦ハ列國ニ對シテ及バヌデアアル、ソレデ此政策ヲ主張スルノデア
ルガ、政府ト全ク目的ヲ同ジウシテ居ルガ、政府ハ方法手段ヲ誤マッテ居ルト吾々ハ確信
シテ、即チ衆議院ノ大多數ハ確信シテ疑ヒマセヌガ、政府ハ此關稅定率ヲ適度ニ上ゲ
ル、即チ昨年衆議院議決シタ位カ、若クハソレ以上ニ上ゲルコトニ付テハ大ナル雅量
ヲ持ッテ、昨年以来ノ行キ掛リヲ棄テ、國家經濟上ヨリ打算シテ同意セラレル意思ハナ
キヤ否ヤ(笑聲起ル)マダ討論ニハ這入ッテ居ナイツレガ質問カ(ト呼フ者アリ)サウ云フ精
神カラ質問シテ居ルノチヤ、政府ハ之ニ對シテモウ少シ誠意ヲ以テ答辯セラレルノ御考ハ
ナキヤ否ヤ(笑聲起ル)僕ハ甚ダ咄辯デアルガ故ニ言葉ニ於テハ足ラナイトコロ、或ハ不
都合ナトコロガアリマセウガ、併シ先刻來私ガ述べタ中ニハ私ノ精神趣意ト云フモノハ十
分含シテ居リマスルカラ、政府ハ其積リテ御聽取リ且ツ御答辯ニ預リタイ、即チ先刻來
述べタ私ノ事實ヲ御認メナサルヤ否ヤ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 唯今千田君ノ御議論ヲ承リマシタ、千田君ノ
御意見ニ依ルト農工商ハ國家經濟ノ三本柱デアッテ、何レニモ偏スル譯ニ往カナ
イ、即チ農工商ハ互ヒニ相賴リ相助ケテ進マンケレバナラヌ、即チ國家經濟ノ上カラ申ス
ト、此三業併進ト云フコトデナクチヤナラヌト云フ御意見ニ承リマシタ(千田軍之助君
「左様」ト呼フ)其點ニ於キマシテハ千田君ノ御意見ハ政府ノ所信ト全ク同一デゴザ
イマス、唯千田君ノ往カヌト認メラレテ居ルノハ、其方法ヲ誤マッテ居ルト云フヤウニ承
知致シマシタ、素ヨリ三業鼎立併進ノ方針ヲ執ッテ居ル以上ハ其三業ヲ併進セシム
ル方法手段ヲ講ゼンケリヤナラヌデアリマス、一方ニ偏スルト云フコトハ出來ヌデアリ
マス、所ガ此三業ノ實況ヲ見マスト、各三業ニ關スル真正ノ利害如何ト云フコトヲ考
ヘマスト、其間ニ利益ノ衝突ハナイ筈デアリマス、互ニ相助ケ互ニ相進ムト云フコトニ
ナラナケレバナラヌノデ、何等其間ニ利益ノ衝突ヲ來シヤウハナイノデゴザリマスルガ、一
旦其方法ヲ誤ルト或ハ其三業ノ間ニ利害ノ衝突ヲ來スカモ知ラヌデアアル、故ニ先日
モ大體申上ゲテ置キマス通り、政府ニ於キマシテハ其邊ノコトニ關シマシテハ最モ慎重
ニ考慮ヲ加ヘテ、產業併進ノ目的ヲ達スルニハ、米ニ對スル稅ハドウシテ宜イカト云フ
コトニ付テハ、深ク考慮ヲ加ヘマシタ結果、先ヅ現狀維持ガ最モ時機ニ適シタル處置
デアラウト云フコトニ決著致シタデアリマシテ、此米ノ稅ニ對シテハ何等増減ヲ加ヘナカ
ツタ次第デゴザイマス、尙又詳シイコトハ政府委員カラ申上ゲマス

○千田軍之助君 一昨年ノ冬カラ米ヲ始め農業物が暴落致シマシタ結果、非常ニ今日ハ經濟界全體ガ不景氣アル、政府ハ戰後財政ノ膨脹シタ結果アルト云フ御答アリマスガ、成程其結果國民ノ負擔ガ重クナツタカラ今日不景氣ヲ來シテ居ル

ト云フコトハ、確カニ一大原因デアリマスケレドモ、戰爭ノ後デ一番經濟界ニ酷イ慘狀ヲ呈シタノハ西南戰爭デアリマス、西南戰爭ハ小サイ戰爭ダケレドモ、當時朝野ノ知識ガ幼稚ナタメニ經濟界全體ニ非常ナ慘狀ヲ呈シタ、ソレカラ見ルト日清戰爭ハ數倍ノ大戰數倍ノ戰費ヲ使ツタケレドモ、西南戰爭ニ較ベテ其不景氣ハ輕カダ、又日露戰爭ニ於テハソレヨリ數倍ノ大戰、數倍ノ軍費ヲ使ツタケレドモ、此財政經濟ガ其宜シキヲ得タナラバ、私ハ日清戰爭ノ後ヨリ尙經濟界ニ惡影響ヲ受ルコトハ少ナイト信ズル、即チ現内閣ハ公債ノ方針、即チ有價證券ノ方面ニ付テハナカノ知識ヲ御持テアル故ニ、此方ハ私ハ兎ニ角成功トシテ賞賛シテ居リマスケレドモ、惜イコトニハ農家ト云フモノハ國家ノ經濟ナリ財政ナリ、ドノ方面カラモ寧ロ至大ナル義務ヲ負フテ居ルニ拘ラズ、内閣諸公ハ農家ノ事實真相ノ方面ニ知識經驗ヲ御持ガナイト云フコトヲ斷言スル、ソレ故ニ甚ダ適切ニシテ行ハナケレバナラヌ政策モ、往々怠テ居ル、是ガタメニ經濟ノ發達ヲ政治ノ方面カラ助長シナケレバナラヌヤツヲ、却テ妨ゲテ居ルト確信スル、即チ唯今外務大臣ハ關稅政策ハ目下位ガ適度アルト言ハレマス、ケレドモソレハ甚ダ事實ヲ御承知ガナイカラサウ云フコトヲ御答辯ニナルノデ、是ハ議論ニナルカ何ニナルカ知ラナイガ、モウ少シ農家ノ事實真相ヲ外務大臣一人ニ望ムト云フノデハナイ、内閣諸公ニ於テモウ少シ事實真相ニ御注意ナサラヌト、知ラズ識ラズノ間ニ非常ニ財政經濟ノ政策ヲ誤マルト思フノデアル、ソレ例ヘテ見ルナラバ、今ノ内閣諸公ハ法律學ハ學シテ居ルガ己レノ擔當スル被告事件、民事事件ノ事實ヲ知ラナイヤウナモノデアル、從ツテ其政策ハ甚ダ均衡ヲ缺クト思ヒマスカラ、モウ少シ此農家ノ事實真相ト云フコトヲ知ラル、コトニ重キヲ置カナケレバナラヌト考ヘル、其邊ニ注意ヲ拂ハル、御意見ハナイカ、之ヲ御尋ネシタイノデアル、斯ウ云フ會ハ餘リ四角張タコトデナク、互ニ意志ヲ疏通スルタメニ或場合ニ於テハ少シハ議論ニ互ツテモ宜カラウト思フ

○木村良君 私ハ三箇條ノ御尋ヲ致シマス、第十五ノ麥芽デゴザイマス、内地ノ麥芽ト其品質ニ於テ政府ハ差異ヲ認メテ居ルヤ否ヤ、内地ニ於テハ此麥芽ヲ生産スル力ガナイト認メテ居ルヤ否ヤ是ガ一ツデアリマス、ソレカラ小麥及ビ小麥粉ニ付テ伺ヒマス、在來ノ小麥粉ハ舶來ノ小麥粉ト市場ニ於テ競争スルコトガ出來ルト認メテ居ルヤ否ヤ、或ハ内地ニ於テ此小麥今日加工シテ製造スルコトガ出來ルト認メテ居ルヤ否ヤ、是ガ第二デアリマス、第三ニハ大豆ニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、我國ノ農業狀態カラ東北地方或ハ北海道ハ大豆ノ本作地デアル、ソレト小豆豌豆蠶豆ト云フ種類ガアルノデアリマスガ、此大豆ハ東北及ビ北海道ノ如キガ最も生産ノ主ナルモノデアルト認メテ居ルヤ否ヤ、認メテ居ルケレドモヤハリ其他ノモノト稅率ヲ同ウスルト云フコトニナルカ、其理由如何、是ダケヲ伺ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 麥芽ノ御尋デアリマスガ、麥芽ハ今日此方出來マス製造致シテ使ツテ居リマシテ、品質モ相當ナルモノガ今日出來テ居ルト云フコトニ承知

シテ居リマス、ソレカラ小麥粉ノコトデアリマスガ、此稅率ヲ以テ外國ノ小麥粉ニ對等シ得ルト思フテ居ルカ否ヤ、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマス……

○木村良君 品質及ビ製造技術ニ付テ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 品質ノ上ニ於テハ必ズシモ外國產ノモノニ總テ劣ッテ居ルトハ思ヒマセヌ、加奈陀ノ麥粉トカ云フヤウナモノハ、即チ大ニ粘リ氣ガアル、光澤ガ良イ、色ガ良イト云フヤウナソレノ地方ニ依テ特長ガアリマスガ、日本ノ小麥ヲ以テ造ルトコロノ麥粉ハ、粘リ力ニ於テハ大ニ強イト云フヤウナ特長モアリマスカラ、一概ニ之ヲ比較シテ品質ガ總テ彼ニ劣ッテ居ルト云フコトハ申セマイト思ヒマス、ソレカラ技術ト云フ點ニ付テハ、小麥ノ製粉ノ事業ハ御承知デモアリマセウガ殆ド器械的デアリマス、人力ヲ要スルコトハ致ツテ少ナイ、器械ヲ運轉スレバ片端カラ麥粉ガ出來ルト云フ製造事業デアリマスカラ、技術ノ上ニ於テハ別シテ日本デ技術ノ熟練ガ足ラナイ、外國ノ技術ニ劣ッテ居ルト云フヤウナコトハナイヤウニ聞イテ居リマス、大豆ノ作柄ト云フコトニ付テハ、他ノ政府委員カラ御答シマス

○政府委員(下岡忠治君) 尙麥芽ノコトニ付テ少シ補足シテ申シテ置キマスガ、今櫻井政府委員カラ答ヘラレタ通りニ、外國ノ麥芽ニモ麥芽ニヨリケリデ、殊ニ埃太利ノ麥芽ナドハ非常ニ品質ガ良イトシテアルノデ、日本デ直チニ埃太利デ用ユル麥芽ニ適スルト云フマデハ出來ナイ、併ナガラ相當ノ品質ノ良イモノヲ作ツテ居ツテ、現在内地デ使用スル狀態ヲ見マスルト、輸入麥芽ガ三十九年ニハ合計テ八十九萬圓程アリマシテ、内地ハマダ二十五萬圓位、併シ段々内地ノ麥芽モ進ンダヤウデゴザイマシテ、現ニ大日本麥酒會社ナドハ追々進ンデ日本ノ麥芽ヲ使ツテ往クト云フ方針ヲ取ツテ居ル「キリンビール」アタリデハ内地ノ麥芽デハ困ル、外國ノヲ使ハナケレバナラヌト云フコトヲ言ツテ居ルヤウデアリマスガ、大體專門家ノ意見ヲ想像シテ考ヘテ見ルト、内地ノ麥芽デ相當品質ノ良イ麥芽ヲ作ルコトガ出來ルトハ認メマス、現ニ大日本麥酒會社ガ使フモノモ、却テ「キリンビール」ヨリ海外ニ餘計輸出シテ居リマスカラ、ソレヲ以テ考ヘテ見デモ、日本ノ麥芽ハ或程度マデハ外國ニ敵對スルコトガ出來ルト言ヘルト思ヒマス、尙詳シイコトハ參考ニ廻シテ置キマシタ麥ニ關スル調査ノ中デ御覽ヲ願ヒマス

○木村良君 將來ノ見込ト云フコトニ付テハドウデス

○政府委員(下岡忠治君) 將來ノ見込ハ需要サヘアレバ有望ナモノデスカラ、段々改良シテ現ニ目黒方面、神奈川邊デ盛ニヤツテ居リマスガ、其他京阪地方アノ方面デモ大分盛ニヤツテ居リマス、需要ガ盛ニナツテ、用途ガアレバ見込ノアル作物デアルト云フコトハ認メマス、ソレカラ小麥ノコトハ御話シマシタカラ申シマセヌガ、大體尙附加ヘテ申上ゲマスレバ、日本ノ小麥ハ内地固有ノ小麥ハ外國ニ比シテ稍々程度ガ劣ルケレドモ、又長所ヲ有ツテ居ル例ヘバ日本デ一番能ク使フ餛飩、素麵等ニ使フノハ、却テ日本品ガ宜イ、粘リ氣ガアツテ宜イ、併シ麵麴ナドヲ造ルニハ日本品ヨリ外國カラ這入ルガ多イ、サウ云フ用途ガ非常ニ多イ譯デナイ、用途ニ依ツテ各々長所ガアリ短所ガアル譯ニナツテ居リマスガ、北海道デ作ル小麥ハ——將來作リ得ル見込ノ小麥ハ品質ハ亞米利加ニ劣ラヌモノモ出來ル、大體言ヘバ日本ノ小麥ハ比較的惡イコトハ事實デアリマスガ、用途ニ依ツテ却テ日本ノ方ガ良イト云フコトハ言ヘル狀態デゴザイマス、ソレカラ大豆ノ點デス主要作物

ナルヤ否ヤト云フ點デスガ、北海道デハ地方ニ依ッテ是ガ主要作物ニナッテ居リマス、例ヘバ前申シマシタ十勝釧路方面ハ無論是ガ一番餘計ニナッテ居リマス、將來ハ開拓ノ進ムニ從ッテドウカト云フコトカラ考ヘテモ、北海道ハ御承知ノ通り三分ノ一シカ開拓ハ出來テ居ラヌ、將來三分ノ二ノ開拓ヲヤッテ往ク上ニ付テ、大豆耕作ガ其先鞭ヲ著ケテヤッテ往カナケレバナラヌコトハ、專門ノ人カラ見タラ爭フコトノ出來ヌコトダラウト思ヒマス、ソレモ需用ノ如何、農家經濟ノ算盤ノ取レルヤ如何ニ依ッテ分ル、トコロデスカラ、必ズ大豆ヲナケレバナラヌト云フコトハ、或程度マデ經濟ト保ッテ往カナケレバナラヌモノデゴザイマスカラ、相當ニ經濟ガ取レ、ハドウシテモ大豆ガ農家ニ取ッテ一番都合ガ宜イ、從ッテ大豆ハ北海道開拓ノ上カラ云フコト、一番大事ナ重ナ仕事トシテ進シテ往カナケレバナラヌ、東北ハソレニ比シテ稍々程度ガ違フ、主要作物モ米其他麥ガアリマスカラ、東北ニ於ケル主要作物ハ大豆ナリトハ言ヘマセヌガ、米麥ニ次イデ東北地方ノ農業上ニ付テ缺クベカラザル作物ニナッテ居ル、主要作物ノ一ナリト云フコトハ申上ゲルコトガ出來ルト思ヒマス

○山本悌二郎君 私ハ此機會ニ於テチヨット御尋シテ置キタイノハ、戻稅ノコトデス、第二類中棉種ハ今迄棉種ヲ以テ油ヲ搾ッテ糟ヲ肥料トスル場合ニハ、戻稅ヲヤッテ居タノコト回ソレテ整理シテ戻稅ヲヤラス、其代リ輸入稅率ヲ七分五厘減少シタイトナッテ居ル、大豆ヲ以テ油ヲ搾リ豆糟ヲ造ル場合ニ、百斤ニ付テ三十錢戻稅ヲ本法ノ第何條カニ依ッテアルト云フコトニナッテ居ル、所ガ此外ニマダ各種ノ法律ノ結果若クバ命令ノ結果ニ依リ戻稅ガアルデアラウト思ヒマスガ、其種類ハドレ程ノモノデ、ドウ云フ品目ニ付テ戻稅ヲ今日尙施行シテ居ルカ、第一ニ伺ヒタイ、次ニ其戻稅ハ此改正關稅ガ施行セラル、場合ニ於テハ、ヤハリ皆繼續シテ往クベキモノデアルカ、其中或ハ撤廢ニナルモノガアリマスカ、ソレヲ第二ニ伺ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今山本君ノ御問デアリマスガ、此改正案ガ實行ニナリマストキニ於テハ、現行ト稅率ノ變リマスモノニ付テハ、相當ノ調査ヲ致シマシテ今日實行シテ居リマス、拂戻金ハ定率ヲ變更スベキモノハ變更スル積リテ居リマス、ソレカラ先ヅ大キナモノデ申上ゲマスレバ、此關稅法ノ實施ニナリマストキニ於テハ、砂糖ノ戻稅ノ如キ無論無クナリマス、併シ外國ニ輸出スルモノニ付テハ是ハ存スル、其外製造品ノ原料ノ輸入稅拂戻ノコトハ三十九年ノ勅令ニ規定シテアリマスカラ、硝子板トカ、綿編子トカ、鋼ノ板トカ、亞鉛板「ブリキ」紅茶ノ粉、羅紗、木材イロノノ物ガアリマス、ソレハ三十九年ノ勅令三百十四號デス、何レモ現行ノ稅率ヲ基礎ニ致シマシテ定額ヲ以テシタリ、或ハ稅率ノ割合ニ戻稅ノ額ガ極メテアリマス、若シ改正案ノ通りニナリマシタトキニハ、再ヒ能ク調査致シマシテ、稅率ノ變更スベキモノハ相當ニ變更スル考デゴザイマス

○山本悌二郎君 ソレハ引續イテ稅率ガ變更ニナルダケデ、種目ハ變リマセヌカ
○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御答シマス、唯今勅令ノ中ニアリマス中デ、魚類ノ油漬ノ罐詰ニ使フ「オレー」油ガ戻稅ニ極ッテ居リマスガ、是ハ前回申シマシタ通り、今回ハ戻稅ハ止ス、從ッテ「オレー」油ノ輸入稅ヲ安クシマス、サウ云フコトデ斯ウ云フモノハ無クナリマス、其他ハ大體今日ノ考デハ續イテ往ク積リデス

○村上先君 チヨット伺ヒマスガ、此食料品ノ獨立ト云フコトハ既ニ木村君千田君ノ御質問ガアリマシタガ、食料品ノ獨立ヲスルニハ關稅ノ保護ヲナケレバナラヌト云フコトモ、殆ド極ッテ居リマス、然レニ之ニ付テイロノノ反對ノ説ガアル、第一食物ノ價格ガ永久的ニ騰貴スルト、從ッテ勞働者ガ苦痛ヲ感ズル、ソレカラ商工業者亦是ガタメニ非常ニ苦痛ヲ感ズル、同時ニ商工業品ガ價格ガ騰貴致シマシテ、サウシテ内國ノ需要者カ負擔ヲ増加シ、外國ノ輸出ガ減テ來タ、斯ウ云フ説ガアル、ソレデ日本ニ於テ穀物ノ課稅ヲ致シマシテカラ以來、果シテ此ノ如キ惡影響ヲ與ヘテ居ルカドウデアリマスカ、殊ニ三十八年ニ米ニ對シテ課稅シテ以來、前申ス如キ惡影響ヲ與ヘテ居ルカドウカ、若シ惡影響ヲ與ヘテ居ラヌナラバ、穀物ノ課稅ハ幾ラ増シテ宜シイカ、此兩點ニ付テ政府ノ御見込ヲ伺ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 村上君ノ御問ハ頗ル廣汎ナ御問デアル、又ムヅカシイ問題デアル、輕々シク之ニ御答スルコトハ出來ヌノデアリマスガ、關稅ガ物價ニ影響スルト云フコトハ、一般ニ認メルトコロデアラウト思ヒマス、唯輸入稅ニ付テ輸入稅率一割五分課スレバ物價ガ一割五分上ルカト云フニ決シテサウデハナイ、或場合ニハ一割五分以上上ガルコトモアルカモ知レヌ、又一割五分ニ達セヌコトモアル、是非常ナ複雜ナ關係ヲ有シテ居リマスカラ、關稅ガ上ガッタ同時ニ、米ナラ米デ申シマスレバ、内地ノ生産ガ大ニ殖エタト云フヤウナ場合ニ於テハ、關稅ハ上ガッテモ其價格ニ影響ハ夫程響カヌ、之ニ反シテ生産ガ大ニ減タタト云フコトニナリマス、關稅ノ影響ハ大ニ働イテ來ルト云フヤウナ關係ハアラウト思フ、唯米ノミデアリマセヌ、總テノモノニ付テサウ云フ複雑ナル關係ノアルモノデアリマス、總テノ狀態ガ一樣デアッテ、關稅ノミガ増減シタト云フコトデアリマス、關係ノ影響ガ一目瞭然シマセウガ、サウ云フコトハ假想的ヨリ外考ヘルコトハ出來マセヌ故ニ、唯今ノ概括的ノ御尋ニ對シテハ如何ナル影響ヲ與ヘルカト云フコトヲ、概括的ニ御答スルコトハ甚ダ困難デアリマス

○村上先君 三十九年ニ米ニ關稅ヲ課稅致シマシテカラ、米價ハ段々騰貴致シテ居リマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 米ニ付テノ御尋デアリマスレバ大要申上ゲタイ、關稅ヲ課シマシテ以後ノ狀況ヲ申上ゲルニハ、勢ヒ關稅ヲ課セザル以前ノ狀況カラ申上ゲナケレバナラヌ、茲ニ米ノ價格ノ變動ヲ調べタモノガアリマスガ、二十五年ヲ基礎ト致シマシテ二十五五年ノ米ノ價格ヲ假リ二百ト致シマス、三十九年ハ二百三十二ナッテ居リマス、ソレデ米ニ輸入稅ノカ、リマシタノハ三十八年ノ七月一日デアリマスガ、三十八年ノ定期米ノ公定相場ハ東京ニ於テ十三圓七十六錢、大阪ニ於テ十三圓二十六錢、正米ノ相場ガ東京ハ十二圓八十四錢、大阪ニ於テ十二圓四十八錢ニナッテ居リマス、ソコデ尙三十六年杯ヲ見マスルト云フト此時ハ米ノ輸入稅ガナカッタノデアリマス、其時ノ米ノ相場ハドウデアアルカト云ヒマス、三十八年ニハ定期米デ申シマス東京ガ十三圓八十錢、正米ガ十四圓四十四錢、大阪ノ方デハ定期米ガ十三圓四十一錢、正米ガ十三圓九十六錢ト云フ風デアリマス、一割五分百斤六十四錢ノ稅ノ課セラレタトキヨリモ、課セラレテ居ラナイニ三十八年ノ相場ヲ見ルト、其方が高イト云フ統計ヲ示シテ居ルコト等ヲ見マスルト、米ノ價格ト云フモノハ一割五分ト云フ關稅ヲ課シタメニ、ソレノ

ミテ價格が昇降スルニ云フコトハナク、他ニ價格ヲ左右スル大ナル原因ガアルト思フ、其原因ハ吾々ノ考ヘテ居ルコトヲ申上ゲテ見マス、茲ニ表ヲ作ッテ見タノデアリマスガ、一例ヲ申上ゲルト輸入税ノ無イキヲ申上ゲテ見マス、二十七年ニハ内地ノ收穫ガ四千八百八十五万石、外國ノ輸入米ガ百三十二万二千石、其時ノ相場ヲ申シマス、ト云フ東京ガ定期デ八圓七十一錢、大阪デ八圓四十錢、正米ガ東京デ八圓八十三錢、大阪デ八圓七十八錢、此時ノ輸入米ガ百三十二万二千石、這入ッテ居リマス、此表ハ後ニ御覽ニ入レマスガ、此表ニ依ッテ見ルト大勢ハ斯ウナッテ居ル、前年ノ收穫ガ少ナイ時ノ翌年ハ輸入米ガ餘計這入ル、輸入米ガ餘計這入ッタ年ハ米ノ値段が上ガッテ居ルト云フ狀況が見エ、是ハ千田君ハ如何ニ御覽ニナルカ御説明ナサルカ、輸入米ガ内地米ヲ壓迫スルニ云フコトデアレバ、輸入米ガ餘計這入ッタ年ハ米ノ値段が下ッテ宜シイノニ、ツレガ反對ニナッテ居ル、是ハ逆デハナイカト思フ、是ハ後ニ御覽ニ入レマス

○山本悌二郎君 此事ニ付キマシテ御尋ラ致シマスガ、唯今ノ御説明ニ依リマス、ト云フ、米ノ値段ト關稅ノ高低ト云フモノハ、餘リ關係ノナイヤウナ御結論ノヤウニ解釋致シマスガ……

○委員長(野田卯太郎君) 未ダ説明ガ結ンデ居ラヌ

○村上先君 モウ濟ミマシタ

○山本悌二郎君 ツレデ要スルニソコガ結局ノ問題ニナル、先刻カラ伺ッテ居リマス、ト、米ノ輸入税ヲ全廢シタラ宜カラウト云フ御意見ヲ持ッテ居ラレ方モ見エ、又千田君ノ如ク之ヲ今日以上ニ引上ゲルト云フ御意見ヲ有シテ居ラレ方モアルヤウデア、ルガ、何レノ御議論ニシテモ、結局前提ト致スコロハ米ノ輸入税ヲ高クスレバ米價が高クナル、米ノ輸入税ヲ低クスレバ米價が低クナル、斯ウ云フ前提ニ於テ何レモ御意見ヲ立アタコト、私ハ承知致シマス、ソコデ若シ是ガ全然影響ガナイモノデアッテ關稅ノ高低ト云フモノハ米價ノ高低ト伴フモノデナイト云フコトデアルトスレバ、何方ノ御意見モ其根柢ヲ失ッデシマフト云フコトニナル、ソコデ今日ノ此六十四錢ト云フ税金ハ、米價ノ上ニハ殆ド影響ガ無カッタト云フコトニナリマシタナラバ、ツレハ果シテ米價ニ影響ヲ及ボスナ、一割モ此以上上ゲルト云フコトニナリマシタナラバ、ツレハ果シテ米價ニ影響ヲ及ボスト政府ハ御見込デアルカ、及ボサヌト云フ御見込デセウカ、ツレハ伺ハヌト甚ダ迷フノデス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 私ハ是マデ米ノコトノ説明ヲスルトキニ、關稅ハ米ノ價格ニ影響ヲ持タヌト云フコトハ決シテ申サナカッタデアリマス、何時モ幾分ノ影響ヲ持ツ、ケレドモ關稅ノ影響ヨリモ尙大キイコ、ニ原因ガ生ズル、關稅ノ影響ハ影ニ隠レルデアラウト思フノデ、決シテ此ノ……

○山本悌二郎君 平時ニ於テハ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯斯ウ云フコトヲ一ツ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、影響ヲ及ボサヌモノナラバ高クシテモイ、ノデハナイカト云フコトニ付テ、假リニ輸入税ヲ高クシテカラ内地ノ產額ガ大ニ減ル、甚ダ不吉ナ例デアリマスガ、凶年ガ續イタト云フ時ニナルト、ドウシテモ是ハ外國カラ米ヲ入レナケレバナラヌ、此際ニ於テハ關稅ガ私ハ大イニ働クデアラウト思フ、米ノ輸入税ガ——是非トモ入レナケレバナラヌ米デアリマスガ、其米ノ税が高ケレバ高イ米デモ入レナケレバナラヌ結果ヲ生ズラアラウ、其時ニハ關稅

ノ働キハ、或ハ其稅ガ一割デモ一割五分其以上ノ影響ヲ持ッデアラウト信ズルノデス、其點ニ付テハ米ノ關稅ナルモノハ甚ダ重大ナルモノデア、ドウデモ宜イト云フモノデハナイト私ハ考ヘテ居リマス

○山本悌二郎君 今ノ續キデチヨット伺ヒマス、非常ナ凶作又ハ豐作ニ於テハ格別トシテ、平時ニ於テ此關稅ト云フモノガ米價ノ上ニ影響ヲ及ボスカ否ヤト云フ御見込ハ如何デアリマスガ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 平時ニ於テモ外國米ニ付テハ大ナル影響ヲ持タウト思ヒマス

○山本悌二郎君 一般ノ米價ハ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 一般ノ米價モツレニ依ッテ多少影響ヲ持マセウト思ヒマス、輸入米ノ價格ニ影響スルコトハ餘程著シカラウト思ヒマス

○淺羽靖君 チヨット伺ヒマス、政府ノ御方針ハ、內國ニ於テ日本國民ガ總テ需用シ得ラル、マデニ農作物ガ發達スベキ見込ナルモノハ、何所マデモ內國ノ生産ニ依ッテ我國ノ國民ノ需用ヲ充タスト云フ政府ハ御方針デアリマス、ツレバ一ツ伺ヒタイ、例ヘバ米ノ如キ、大麥其他小麥、大豆ト云フヤウナモノガ重ナルモノデア、ツレガ我國ノ果シテ供給ガ需用ニ適當スルマデ出來ルモノトスレバ、政府ハ何所マデモツレヲ發達セシメテ、輸入ヲ防禦スルコト云フ御方針デア、アルノデアリマスガ、ツレバ伺ヒタイ、其根本ヲ伺ッテ置カヌコトニハ、甚ダ御答辯上ハ如何ニモ經濟政策トシテ立派デア、ルヤウデゴザイマスガ、其事實ニ現ハレテ行クトコロヲ篤ト考ヘテ見ルト、甚ダ危險ナルモノデア、年中フラノ

フラノ國民ハ致シテ居ラナケレバナラヌ、出來ルモノヲ幾分外國カラ入レテ補ッテ行クト云フ、ドウシテモ基礎ガナイヤウニ思フ、故ニ政府ハ此農產物ニ對シテ日本國內デ出來ナイモノハ外國カラ入レル、コ、百年二百年間ハ日本ニ於テヤリ遂ゲルト云フ確乎タル御方針出來ルト云フ御見込ノアルモノハ、必ズ之ヲ日本ニ於テヤリ遂ゲルト云フ確乎タル御方針デア、ルノデゴザイマセウカ、是ガ國民經濟ノ一番根本デア、ハナイカト思フ、然ルニ更ニ伺ッテ置キタイノハ、サウ云フ點ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマスガ、砂糖政策ニ付テ見マス、五割トカ六割トカマデ此輸入税ヲ上ゲル、輸入税ヲ高ク取ル、ツレハ何デア、ルカト言ヘバ、臺灣ニ於テハ日本國民ノ需要スル砂糖ヲ供給出來ルノミナラズ、海外ニマデモ輸出シ能フト云フヤウナ方針カラ、十分ニ輸入税ヲ課シテ此保護政策ヲ執ルヤウニ見エ、所ガ米デモ大豆デモ輸入ノ金額ハ一千万圓以上ニ屬シテ居ルモノデ、多大ノ輸入物ニナッテ居ル、其方ニ向ッテハ取テ砂糖ニ讓ラザルトコロノ輸入金額ニナッテ居ルニ拘ラズ、稅率ハ僅ニ一割五分ニ止メテ居ル、砂糖ニ於テハ輸入税ニ於テ五割、六割ノ輸入税ヲ課シテ保護シテアルニ拘ラズ、米デア、ルトカ小麥、大豆、大麥ノ如キモノハ僅ニ一割五分ト云フ稅ヲ課スルコト云フコトハ、甲ニ厚クシテ乙ニ甚ダ薄イ、シテ見ルト砂糖ハ何處マデモ日本デ保護シテ行ク、大豆、小豆、大麥、米ト云フヤウナモノハ一切ドウ榮枯盛衰興亡ガナシテ行カウガ構ハナイ、斯ウ云フヤウナ御見込デアリマスガ、ドウモ彼此比較シ來ッテ見ルト、政府ノ方針ト云フモノハドウモ付イテ居ルヤウニ思フ、御答辯上ハ如何ニモ立派デア、ツ、間然スル所ナイヤウニ思ヒマスガ、此農家ニ實際影響シテ居ルトコロノ結果ヲ考ヘテ見ルト、如何ニモ農業者ハ國家ノ方針ガ確乎ト立タヌ

ヤウニ思ハレマスルカラ、其點デケラ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(下岡忠治君) 砂糖ノコトハ後廻シニ致シマシテ、大體此日本人ノ食フトコロノ糧食、食料品ト云フモノノ内地デ全然之ヲ供給スルカ、或ハ外國カラ仰グ方針ヲ執ルカ否ヤト云フ御問ダラウト思ヒマスガ、無論内地デモ相當ニ出來ルコトハ出來マス、現在ノ日本ノ米作ト云フモノハマダ之ヲ進メテ行クコトガ出來ナイトハ無論言ヘマセヌ、是ニ付テハ相當ニ調ベタコトモアリマス、併ナガラ出來ルカラト云フテ非常ニ値段ノ高イモノヲ作ルト云フコトニナレバ、却テ全體ノ經濟ニ不利益デアリマスカラ、絕對ニ日本ノ糧食ノヤウナモノヲ、内地デ出來ルカラト云ウテモ、經濟的ニ出來ルト云フ見込ガ立タヌ以上ハ、所詮内地デ供給スルコト云フ譯ニハ行カヌダラウト思フ、併ナガラ政府ノ現在執テ居ル方針ハ、大體ニ於テ内地デ相當ニ出來ルトコロノモノハ、成ベク内地ノモノヲ使フト云フコトハ、經濟上カラ言ウテモ不利益デヤナカラウト云フ積リニナツテ居リマスガ、絕對ニ之ヲ外國カラ仰ガヌト云フコトニナツタナラバ、要スルニ禁止稅ヲ掛ケルカ、或ハ非常ニ高イ輸入稅ヲ掛ケヌケレバナラヌト云フコトニナツテ來マシテ、大體ニ於テ日本人ノ内地ニ於テ耕作スル餘地ガアルト認ムル以上ハ、十分ニ各種ノ保護獎勵ヲ致シテ行クコト云フ考ヲ持ツテ居リマスルケレドモ、總テ内地デ供給シテ絕對ニ外國ノ輸入品ヲ止メテシマハナケレバナラヌト云フ必要ハ認メマセヌ、即チ言フ換ヘテ言ヘバ、現行稅率ノ一割五分ト云フ程度ガ、先ヅ商工業其他ト權衡ヲ取ツタ上デ據ロナイデアラウ、斯ウ云フ事柄ニナツテ居ルノデゴザイマス、砂糖ノ方ニ付キマシテハ別ニ委員カラ申上ゲマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 砂糖ニ過大ナル保護稅ヲ掛ケテアルハ他トノ權衡ヲ失ツテ居ルデヤナイカト云フ御問デアリマスガ、御承知ノ通り先年ハ砂糖ノ輸入ガ非常ナ額ニ上リマシテ、年々外國ニ拂フ金ハ少クナイデアリマス、臺灣ガ領土ニ歸シマシテカラ、アノ土地ハ砂糖ノ適地デアルト云フコトガ分リマシテ、十分調査ヲ致シタ末ニ、更ニ此土地ニ砂糖ノ耕作ヲヤリ、改良ヲ加ヘテ行ケバ將來日本デ需用スル砂糖ハ得ラル、ヤウニナルト云フコトノ調査ガ著キマシテ、ソレノ砂糖ノ耕作ニ付テハ獎勵等モアツタデアリマス、同時ニ臺灣バカリデアリマセヌ、沖繩、大島、四國ノ如キ、從來砂糖ノ耕作ノアツタ地方ニ向ツテハ、政府ハソレノ産業獎勵ノ主義ヲ執ツテ居ルデアリマス、ソコデマダ今日ノトコロデハ、臺灣デ出來マストコロノ砂糖ヲ以テ一般ノ需用ヲ充タス譯ニハ參ッテ居リマセヌ、ケレドモ段々増シテ來マシテ、今後產額ハ大ニ増スデアラウト思フ、所デ砂糖ノ内外ノ生産ノ狀況ヲ見マスト、何分マダ内地ノ砂糖業ハ十分ナル經驗ヲ有タヌタメデアリマスカ……

○委員長(野田卯太郎君) 全體ノコトハ砂糖ノ所デ願ヒマセウ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) ソレデハ簡單ニ申上ゲテ置キマセウ、且ツ此砂糖ノ耕作ハ普通ノ農作ニ加フルニ、機械ヲ備ヘ付ケテ技術ノ熟練ヲ要スル製造工業ガ伴ッテ居ルノデアリマシテ、餘程砂糖ノ製造ハムツカシイ難儀ナ仕事デアリマス、サウ云フ譯デアリマス故ニ、ソレニ對シテハ相當ナル保護ヲ加ヘルト云フコトハ必要デアラウ、工業ト農業ト加ハタ仕事デアルノデアリマスカラ、餘程ムツカシイ仕事デアル、斯ウ云フコトヲ以テ内外ノ生産ノ狀況ヲ見テ、保護稅ヲ課シテ居ルノデアリマス

○千田軍之助君 政府ノ答辯ノ精神ヲ考ヘルニ、吾々ガ保護稅ヲモウ少シ上ゲタラ増スデアラウト云フコトニ付テ、今ノ農家ノ有様デハ經濟的其ノ處ヲ得ナイカラ、即チ道路部ナリ、其他ノ經費ニ依ッテ農家ノ收益ハ如何ニモ少イ、少イノハ安イ外國米ノタメニ相當ノ價ヲ保タナイカラデアアル、之ヲモウ少シ上ゲタラ宜イデヤナイカ、ソレニ付テ政府ノ答辯ハサウシタラ消費者ガ困ル、豐年ノ年ニ關稅ヲ上ゲタラバ不作ノ時ニ消費者ガ高イ米ヲ買ハナケレバナラヌコトニナル、是ハ少シモ農家ノ利害ト云フモノヲ考ヘナイカラデアアル、農家ト云フモノハ豐年ノ時ニハ無論關稅ヲ掛ケテアツテモ米ノ値段ガ下ガルシ、不作ノ時ハ收穫ガ少イカラ米ガ相當ニ上ルカラ農家ノ經濟ガ保テル、若シ不作ノ時ニ米ガ下ツタ來テハ堪タモノデハナイ、假リニ日本ハ不作デアアル、印度ナリ朝鮮ナリハ非常ノ豐年デ安イ米ガ入ッテ來ル、不作ノ時ハ兎ニ角米ガ少イ、ソコヘモッテ來テ値段ガ安イト、マルデ百姓ハ内外カラ即カレラ保テナイ、僕ハ訥辯デアラカラ困ルガ、不作ノ時ニハ收穫ハ少ナイガ、關稅ノ政策ニ依ッテ多少ノ價ヲ保チ得ラル、ト云フコトハ、經濟界ノ巧妙ナル勸デアアル、然ルニ大藏省ハ常ニ消費者ノ利益ノミヲ考ヘテ、農家其者ノ利害ト云フモノハ何時モ度外ニ置イタ答辯デアアルガ、是ハモウ少シ農家ノ利益ヲ直接ニ考ヘ、併セテ消費者ノ利害ヲ考ヘルヤウニ精神ヲ入レ替ヘナクチャナラヌ、本當デ、本當デ、大藏省ノミナラズ政府ノ頭ヲ入レ替ヘナクチャ此問題ハ解決セヌ、全クダソレハ何カト云フト、是ハ議論ニナルカ質問ニナルカ知リマセヌガ、斯ノ如キ重大ナ問題ハ打解ケテ御話スルガ宜イ、全ク政府ノ頭ノ置キ所ガ違ッテ居ル、有價證券ナドニハ知識經驗ガアルガ、此農業、國家經濟、財政何レノ方面カラ見テモ至大ナル關係ヲ持ツテ居リマス、此方面ニ於ケル事實真相ハ全ク政府ノ頭ニハ缺ケテ居ル、ソレデ此問題ヲ適當ニ解決スルノハ、私ハ訥辯デアラタメニ甚ダ言語ノ中ニ不敬ノコトガアルカモ知リマセヌガ、精神ハ全ク今日ノヤウナ財政經濟ノ方針ヲ執ッテ居テ、國ノ發達ヲ非常ニ助長シナケレバナラヌ政府自身ガ、却テ其發達ヲ抑ヘッ、アルト云フコトヲ憂フルデアリマス、是ハ質問ニナルカ議論ニナルカ知リマセヌガ、兎モ角モ政府ハモウ少シ誠心誠意此農家ノ事實真相ト云フモノヲ御研究ニナラヌト云フト、確ニ國ノ富ノ發達ヲ拒止スルカラ、此事ヲ私ハ誠心誠意國家ノタメニ、政府即チ内閣諸公ニ切望致シテ置キマス

○委員長(野田卯太郎君) ソレデハモウ第三類ニ移ッテ閉會シマセウ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(野田卯太郎君) ソレデハ今日ハ是デ閉會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開キマス

午後三時二十一分散會

衆議院關稅定率法改正法律案委員會議錄第三回正誤

頁	段	行	誤	正
一七	上	九	日英條約	日英追加條約
一七	上	九	他ノ二國	他ノ佛獨二國

明治四十三年二月十六日印刷

明治四十三年二月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局